

# 同窓会報



3年振りに愛媛県民文化会館で開催された卒業式 (2022.3.24)



愛媛大学正門とイーヨーリージョナルコンズ



3月に開通した岩城橋



後期保存修理工事に入った道後温泉本館



積善山山頂から岩城橋を眺める  
(渡った島は生名島、その向こうは弓削島)

## 愛媛大学文理学部人文学科及び法文学部同窓会

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内 tel.090-1002-6376

E-mail:support@ehime-u-houbun-dousoukai.com [HP] <https://ehime-u-houbun-dousoukai.com>



# 第16回 法文学部同窓会 総会報告

3年に1度の本部総会は2021年11月27日(土)を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、書面での持ち回り開催といたしました。

審議に加わって頂いたメンバーは、本部理事会構成員・支部役員(支部長・支部事務局長)および会報に同封したアンケートにて希望された会員の計50名です。

報告事項・審議事項は下記のとおりです。

## (報告事項)

同窓会員数の動向/決算・予算報告/寄付報告/支部活動報告/理事会開催報告/3年間の事業活動のまとめ

## (審議事項)

次期3年間の重点課題と事業活動方針/規約改定について/役員改選について/顧問の設置について

審議事項は全て承認され、2021年12月31日をもって西田和真会長以下10名の理事が退任され、2022年1月1日から松本長彦新会長を中心とする新しい理事による体制がスタートいたしました。

※12・13ページに承認された規約改正と、本部新理事・支部役員の一覧を掲載しています。

# 同窓会へ寄付をお願いいたします。

2021年度もたくさんの寄付をいただき、ありがとうございました。有効に使わせていただきます。

2022年3月31日現在

**1,722,500円 総数355名**

※24・25ページに寄付者一覧と応援メッセージを掲載しています。

「ふるさと応援制度」を3年前から導入しました。「〇〇支部へ寄付」と記載された方の寄付額の半分以上を指定された支部に交付しました。

**関東・関西・広島・四国**

**支部合計 226,250円 (2020年度275,500円)**

引き続きこの制度を活用して、支部活動への支援をお願いします。本部でも、寄付や本部会計の中から支部活動を支援しております。

また、法文学部学生支援のため、愛媛大学基金を通じて100万円を寄付しました。

## プレゼント

2021年度は、寄付を頂いた方に「ぶんぼーマスクケース」をプレゼントいたしましたが、2022年度は「ぶんぼースマタテペン」をプレゼントいたします。同封の振替用紙で郵便局にて寄付ができます。

(3,000円～、110円の手数料がかかります)



スマホを立てられます

## 目次



愛媛大学  
EHIME UNIVERSITY

法文学部同窓会報  
第26号

総会報告/寄付のお願い	2
俳句投句・結果発表/LINE登録	3
四国支部総会のお知らせ	3
学部長・事務課長インタビュー	4
新三役あいさつ(1)	6
青い地球交流記	7
卒業式/入学式	8
理事会報告	9
俳句投句 選句結果発表&講評	10
Q&A	11
同窓会規約改定	12
本部・支部役員名簿	13
卒業生から	14
退職された教員の方々	16
愛大今昔 Vol.2	18
法文学部教員人事異動	21

愛媛大学校友会/放送大学	21
提供講座『社会と人間』報告	22
講師の方に感想をお聞きました!	23
寄付者御芳名一覧	24
応援メッセージ/支部だより	25
愛媛大学硬式野球部	26
イー・ユー・リージョナルコモンズ	27
研究室紹介(人文学・中川先生)	28
(社会科学・榎林先生)	29
Career Report	30
パズル/感想/編集後記	32

題字: 柴田 祐昭

(文理学部人文学科史学専攻・第8回卒)

[明楽寺住職・愛媛県美術会常任評議員・  
県展審査員・毎日書道展審査会員]

# 「同窓会俳句コーナー」第1回投句 結果発表!!

昨年の同窓会報からスタートした俳句コーナー。合計24名、総数87句（他学部1名、5句含む）の応募がありました。選者の家藤正人先生（俳句集団いつき組）による厳正な審査の結果、優秀3句が決定しました。

休講やボールを飛ばす秋の空 玉井 周平  
丸文字のレシピセロリは好きかしら <sup>ふみのまごち</sup> 踏野正東風  
春や祖父へ 消印は鉄砲町 原武

入選の6句と共に家藤先生の講評を頂いています。詳細は10・11ページをご覧ください。  
優秀句・入選句の計9名の方々には賞品として図書カードをお送りいたしました。

## 第2回投句募集

テーマ詠：「学食」  
応募方法：ハガキ  
E-mail  
同窓会HP  
締切：2022年11月30日(水)必着  
選者：家藤正人先生  
(2010年 人文卒)

詳細は11ページをご覧ください。



## LINEで法文学部同窓会とつながろう

愛媛大学法文学部を卒業し、どこかの街で、カレンダーをめくり、幸せに年を重ねていらっしゃるでしょうか。そして、多感な青春時代をおくったキャンパスを思い出す事もありますでしょうか。皆さんのスマホに、古今東西法文学部のニュースなどを配信しています。LINEでお友だちになってください。

みかんの白い花のような気持ちを、思い出してもらえるように、がんばります(∩o∩)



## 四国支部総会のお知らせ

**卒業3年目(2019~2021年度卒)までの会員には特典あり!** (会費・プレゼントなど)

日時：2022年10月22日(土) 13:00~15:30

場所：東京第一ホテル松山

内容：四国支部総会・懇親会

会費：5,000円(卒業3年目までの会員は2,000円)

※参加を希望される方は、会報に同封のアンケート用紙にチェックを入れて9月30日(金)までにご投函ください。後日、詳細をお送りします。新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止または延期の可能性もあります。

(同時開催予定)

**1974年法学科後半 同期会** (呼びかけ人：玉井・竹本・村上・山根 他)

詳細は右記へお問い合わせください。

玉井周平 携帯090-8973-7650

E-mail: tousui78@yahoo.co.jp

# 井口秀作法文学部長・ 加藤明浩事務課長 インタビュー

(2022年5月19日取材)

**Q：コロナ禍ももう2年以上ですが、現在の大学の様子はどうなっていますか。**

**井口法文学部長** (以下井口)：今は原則として対面授業をするようになっていきます。2年経ってようやく、というところですが。本来なら当たり前の形に戻ただけなのですが、今まで構内に学生の姿がほとんど見られなかったのが、4月になってパートと学生がたくさん見られるようになって、なんとというか新鮮な気持ちです。

**Q：学生たちはどんな様子ですか。**

**井口**：思った以上に感染対策が習慣化していて教室に入る前には自然に消毒していますし、マスクもしっかり着けている。とはいえ、せっかく対面になって友達とも会えるようになったので、授業の前後にはおしゃべりを楽しんでいます。これは遠隔授業では絶対にあり得なかったことです。対面になったことを不安がっているような様子は見られないですし、保護者からもそういう声は聞



井口秀作法文学部長

**加藤事務課長** (以下加藤)：私もこの2年間、構内がシーンとしているのに慣れてしまっていました。それが4月から「愛媛大学にはこんなに学生がいたのか」と、当たり前のことなんですけど、すごく嬉しくなりました。改めて本来の状況は、幸せなことだったんだと思いました。

**井口**：本当に新鮮でした。他方、学食などでの座席数制限はまだあって、多分席が足りないんでしょう、外でお弁当を食べている学生が多い。そして、そのお弁当を食べる場所も足りていない。教室内では飲食禁止なので空き教室で食べるわけにもいけません。雨の日なんかは特に深刻で、そういうところにまだコロナの影響を感じます。

**Q：ゴールデンウィークの移動制限なども徐々に緩和されていますし、重症者も減っていますし、そろそろ完全に元に戻してほしいです。**

**加藤**：国の動向としては戻そうとしていますね。海外渡航も緩和されてきていますし、大学としても海外との交流をどうするか考えていなくては。

**Q：サークル活動はどうですか。**

**井口**：かなり戻ってきています。僕はアメリカンフットボールの顧問なんですけど、感染対策を行っているというチェックをきちんと受けて許可を得ての上ですけど、活動で



きています。新入生の勧誘活動も、以前のように構内にズラッとテントを張って声をかけて、という形に戻りました。

**加藤**：入学してきて、特にどこに入ろうと考えていなくて、声をかけてきたサークルに何となく入るという学生も多いと思うんです。実際入ってみて、なかなかよかったじゃない、ということも結構ある。ですが、オンライン活動では、なかなか声をかける機会がなかった。今の2、3回生で、誘われたら入るけど自分から積極的に探そうとまではしなかった学生は、どこにも所属できないままになっているのではないのでしょうか。

**Q：古い話ですけど、私が学生だった30年前にはHSG(法文新歓学祭委員会)という学生委員会があって、先輩たちがいろいろ企画して交流の場を作ってくれて、それがサークル加入のきっかけになったりもしたんですが。**

**井口**：HSGは今もありますよ！ あるんですけど、消滅の危機に陥っています。まさに、コロナで新歓活動を何もできなかったことで新入委員がないんです。

**加藤**：「学生生活」というものは、もちろん授業が中心ですが、私はそれは半分くらいの割合だと思うんですよ。課外活動や友人との交流・雑談により得るところが非常に大きい。こういう一見「どうでもいい」ことが実はとても大事なんですね。

**井口**：そうです。さっきも言いましたが、授業の

前後のおしゃべり、これは遠隔授業ではあり得ない。今ね、振り返ってみて思うんですけど、「授業が遠隔なのにサークル活動を対面で行うなんてとんでもない」という対応だったのは、おかしかったんじゃないかと。むしろ授業で集まらないから、何か学生が集まるきっかけを作ってあげなくてはいけなかったんじゃないかと。

**加藤**：愛媛大学は、全国の大学の中でも厳しめの対応をし



加藤明浩事務課長  
(1989年 文学科卒)

てきました。そのおかげと言いますか、他大学に比べてコロナ感染者の発生率はかなり低いと聞いています。それは、学長はじめ関係の方々の英断であったかと思えます。ただ、それをいつまでも続けるわけにはいかない。

**井口**：これから、学生も人との接触が増えてそこから学ぶこともあったりして、本来の学生生活に戻っていくんだろうと思います。

**Q**：お二人の抱負など聞かせてください。

**井口**：法文学部は最大時には教員数が100人を超えていたんですよ。これだけの人数がいてこれだけの学問ができる、という所帯だったのが徐々に減って、特に社会共創学部ができた時にかなりの人数が移籍をして、さらに予算的な問題もあって定年退職された先生の補充もできない状態になり、改組してからの6年間だけでも2割近く教員が減りました。ですが今後は大学の方針として、減らす一方ということは無くなりました。現状を維持していくことになったので、今後はこの人数の所帯で法文学部として提供できる学問の世界というのを整備していきたい。20年前に比べたらコンパクトではあるけれど、ひとまとまりの学部として作っていきたい。特に経済系の科目が社会共創学部へ移ってしまったのでその辺をテコ入れしたいと思っています。

それと、学部長に就任して様々な地域のステークホルダーの方々と接することが増えたんですが、大学が送り出す卒業生に対する期待が大きいのがわかります。これからは地域に貢献する人材を送り出したいと思っています。最近、地方国立大学や文系学部は逆風の中ではありますが、地域の方と交流していると、皆さんに愛媛大学や法文学部はまだ期待されていると感じます。人材を送り出すだけでなく、先生方の研究活動で地域に貢献できることはないかと考えています。それが一番かな。

**加藤**：私は抱負というか、もう一課長が語るレベルではないんですが、大きく二つあります。一つは、文系の魅力をアピールしたい。なぜ文系科目を勉強するのか、社会に出て実践として直接は役に立たないではないか、と言う人もいますが、私、最近やっと分かってきました。それは我々が「人間だから」です。動物は勉強しません。人間の根底には知らないことを知りたいという欲求があります。その欲求こそが非常に大事。そのことを大学生は勿論ですが、むしろ高校生に伝えたい。オープンキャンパスのときに話したりするんですが、一介の大学職員が受験制度を変えることなんてできないことを承知の上で(笑)、受験に関係なく本来の学問の楽しさを分かってもらいたいと思います。例えば、哲学や歴史を学ぶことで視野が広がり、物事を多角的に捉えることができますし、いざという時の正しい判断力につながります。そういう文系の魅力を伝える仕事をしたい。

もう一つは先ほどの学部長のお話とも重なるんですが、基本的に一つの県に一つの地方国立大学がある。元々、高等教育機関は地方を豊かにするための優秀な人材を育てることを目的に、その地方の方々が私財を提供してきたものです。それが最終的に地方国立大学になって今ここにあるわけです。大学はその人たちに恩返しをしないといけない。具体的には、優秀な人材を都会に送り出すのではなく、その地方に残っていただかないといけない。ただ、「松山」の知名度と立地条件が厳しい。例えば広島の高校生が愛媛と関西のどちらの大学を選ぶかと言われたら関西を選ぶんです。これはどんなに愛媛大学が頑張っても、名前と都会の魅力では関西に敵わないから

です。四国は三本の橋で本州と繋がったとはいえ、山陽道のような大動脈沿いがないので、島から半島になっただけであり、限界があります。しかしながら、何とかして松山や愛媛の街の魅力、土地の魅力をもっと発信して優秀な人材を確保したいというのが願いです。大きすぎる夢ですが、将来的に取り組みたい。

**井口**：社会に出て、後になって「学び直したい」と考える人は、絶対文系出身なんですよ。それを学生時代に学んでいたら今この問題に役に立ったのに、というのは後になって分かるんです。文系の学問は、無意識に身につけたものが生きていて仕事にも役立っている。長い目で見たら生きる上で役立っていることに後で気づくんだけど、できればもっと早く、高校生ぐらいで知ってここに来てほしいです。我々も分かってもらえる努力をしないとイケないですね。

**Q**：法文学部で新しい取り組みのようなものはありますか。

**井口**：今はモグラが地面に頭を出しているような状態。2年間コロナで閉じこもっていて今やっと出てきたところなので、今から何をするか考えます。改組の時に法文学部は2学科だったのを1学科3コースに分けてグローバル履修コースを作ったんですが、グローバルと言いがらこの2年何もできなかった。これを再開していきたい。留学も国際交流もしたい。それと、これは前学部長からの引き継ぎなんですが、我々教員自身の研究の成果の発信として書籍の出版をしたい。予算をつけて支援するつもりです。魅力的な研究をしている教員がいると、その先生に教えてもらいたいという学生も来ますから。

**加藤**：研究者にとって、成果をウェブ上に発表するのではなく書籍として発行するというのはとても意義あることなんだろうと思います。それを学部として後押しするのは素晴らしいことだと思います。

**Q**：最後に、同窓会に対して一言。

**井口**：私は私大に勤めていた期間が長いのですが、私大には全学の同窓会しかないです。規模が大き過ぎて、一般の卒業生には親しみが少ない。ですから、学部の同窓会というものが持っている意味はとても大きい。非常に大事にすべきものだと思います。

**加藤**：卒業生の方が何かのきっかけで久しぶりに来学されて、自分の学び舎がまだあった、と涙されることがあります。ある年代が来ると、同窓会のありがたさ、同級生のありがたさ、母校への愛着というものが出てくるのかな、と。卒業したての若い人もしばらくは無関心でも、いつかは同窓会に戻ってくると思います。私もそうでしたので。

——しっかり同窓会を守っていきたいと思います。本日はお時間をとっていただき、ありがとうございました。



インタビュアー・野崎明子

# 新三役あいさつ (1)

2022年から新体制になりました。  
3年間よろしく願います。



法文学部同窓会会長

**松本長彦**

(1981年文学科卒)

本年1月より同窓会会長を拝命いたしております松本長彦です。宜しく願い申し上げます。

小池元会長と西田前会長の下で6年間副会長を務めさせていただきました。お二方には、「会員名簿」の発行と頒布、同窓会寄付金の創設と寄付者への同窓会記念グッズのプレゼントの開始、さらに法文学部創立50周年記念事業への財政的支援、愛媛大学基金への寄付による法文学部生の海外派遣事業への支援、同窓会提供講座の運営支援等々を通して、同窓会活動の活性化のためにご尽力いただきました。その高いご見識と実行力には、下から拝見していても自ずから頭の下がる思いを抱き続けて参りました。その後を受けての会長職は、浅学菲才の身にとっては大変ではありますが、先輩方が営々と築き上げてこられた同窓会活動の伝統を汚さないよう、精一杯務めさせていただき所存でございます。

さて、今回の「同窓会報」に掲載しておりますように、昨年11月に持ち回りで開催した総会に於いて、同窓会規約の改正を行いました。同窓会の正式名称を「愛媛大学文理学部人文学科及び法文学部同窓会」と改め、法文学部在學生及び大学院人文社会科学科法文学専攻在學生を「準会員」として、規約上も正規の「同窓会員」であることを明記しました。これによって、同窓会と現役学生諸君とのつながりを一層深め、現役学生にも同窓会活動に参加してもらうことによって、同窓会活動自体を活性化し、同窓会による学生諸君への支援をより円滑に行えるようになることを期待しております。

しかし、本来同窓会は卒業生の皆様によって組織され、卒業生の皆様のために活動することを第一義とすると考えております。そのために同窓会規約第2条の「目的」の文言も、「愛媛大学法文学部と密接な連携を保ってその発展に資すること」と「会員相互の親睦を図る」こととの順番を改め、「会員相互の親睦を図る」ことの方を最初にもってきました。同窓会としても、卒業生である「正会員」の皆様のための活動をさらに充実させていきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。



法文学部同窓会副会長

**畠中節男**

(1979年法学科卒)

同窓生の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年1月から3年間の同窓会副会長を拝命いたしました畠中節男です。副会長就任にあたり、これまでの同窓生のご協力ならびに歴代役員のご尽力に対して心からの敬意を表します。

さて、私は同窓会活動の目的は大きく2つあると考えています。

一つは、母校愛媛大学の隆盛に寄与することです。正に数多くの卒業生によって愛媛大学の名が高められているとともに、地元愛媛県の発展に貢献されています。同窓会としては、大学に対して何が出来るか、また大学は同窓会に何を期待しているか、そうした情報を精査しながら今後とも愛媛大学の隆盛に寄与していきたいと思っております。

二つ目は、同窓生相互の親睦を図ることです。これは本部支部活動のほか、同窓会報の発刊を通じて情報提供していくことも大きな役割だと感じています。

私は1979年に法文学部法学科を卒業したのち銀行員となり、2021年まで42年間奉職いたしました。大学の先輩であり銀行の先輩でもあった野村靖記さんからの要請で2016年に会計監事に、2019年に理事となり、このたび前同窓会長の西田和真さんから副会長の要請を受けました。お二人ともハイキング部の先輩ですが、そうした関係もあって役員メンバーに参加させて頂いております。

2016年に役員メンバーに参加させて頂くまで、私はどちらかというと同窓会活動への興味は薄く、同窓会報を目にするのも殆どありませんでした。しかしながら職場において愛大同窓生を見かけると、職場の仲間にとどまらない特別な感情を覚えていたのも事実です。「自分と同じ愛大卒だから」と気に掛ける仲間意識は、どなたもお持ちの感情だと思っております。

同窓会報やLINEを通じて情報提供していきたいと考えていますが、「自分と同じ愛大卒だから」の仲間意識が皆様にも益々大きく広まっていくことを願っております。

微力ながらも精一杯務めていきたいと存じますので、どうぞよろしく願います。

# 「青い地球交流記」(ダイジェスト版)

新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見えてこないなかでも、オンライン空間で積極的に国際交流や語学研修に参加したり、渡航できる日を目指して留学の準備に励む法文学部生がたくさんいます。今年は「特集号：オンラインで世界とつながる」より、ミニ・エッセイとオンライン研修体験記をご紹介します。  
(「青い地球交流記」編集長より)



## 留学に向けてただいま準備中!

### 『自分が夢中になれることを大切に』

宇高 萌子 (法文学部2回生=掲載時、現在3回生)

コロナウイルスが世界で猛威を振るい始めた2020年の春、私はこの愛媛大学法文学部に入学しました。大学に入って早々、全ての授業がオンライン形式で行われ、大学に行くこともできず、友達も作れないまま不安な日々を過ごしていました。そんな精神的にも辛かった自粛期間中、唯一私の心を癒してくれたのが元々好きだった、韓国音楽や韓国ドラマでした。1回生のときに初めて韓国語を授業で学ぶようになって、歌の歌詞やドラマのセリフが少しずつ理解できるようになり、その度に喜びを感じもっと韓国語を学びたいと思うようになりました。今考えると、自分が楽しいと思えて夢中になれるものに出会えたことが支えとなり、学業への意欲を高める要因になっていたと思います。

そして2回生になった現在、私は朝鮮言語文化を専攻していて、語学だけでなく朝鮮半島の歴史や文化、芸術についても勉強しています。韓国と日本の文化や言葉の表現方法の違いを比較する面白さを感じています。また、最近では絵画を通してそれが描かれた当時の朝鮮半島の様子について読み取る学習をしています。そういった勉強をしているうちに、韓国文化や歴史、語学についてももっと理解を深めたいと思い、留学を視野に入れ始めました。今は留学に向けた語学の勉強も頑張っています。

ここで私の勉強方法について少し紹介したいと思います。私は楽しく勉強することをモットーにしているので、テキストを使った学習以外に、韓国ドラマやK-POPを字幕ありとなしで交互に聞き、リスニング力と語彙力の向上につなげています。(韓国webドラマがおすすめです!) すき間時間に利用しているのは「パチトレ」というスマホアプリです。自分が向上させたい分野に合わせてトレーニング方法を選べる点が良いと思います。また、2~3行の日記を韓国語で書いてみるのも自然と語学力が身に付く良い方法です。さらに韓国の文学作品を読むことで、韓国社会や文化についても学ぶことができます。

このように韓国語を学ぶこと、韓国文化・歴史を知ることが私にとって楽しいと思えることであり、それが励みとなっていきます。みなさんも自分が夢中になれることを全力で取り組んでみてください。今将来へ不安を感じている方もそれがいつか自分の原動力、これからの人生の軸となるかもしれません。



## ドイツ語オンライン研修体験記

### 『とにかく挑戦してみたい』

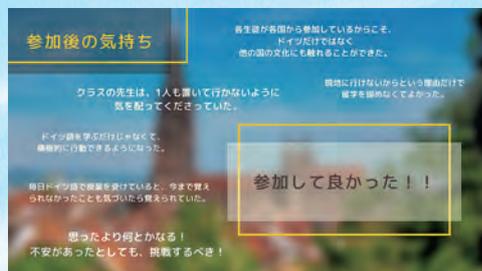
神谷 七穂 (法文学部3回生=掲載時、現4回生)

私は、昨年9月に1か月間、ドイツのフライブルク大学のオンライン留学に参加しました。「オンライン留学」という言葉もほとんど聞いたことがなく、どういうものなのか想像することが出来なかったということもあり、参加を決める際や実際に参加するまでは、かなり不安でした。しかし、やらないよりもやって後悔だと思い参加を決めました。

オンライン留学の参加を迷っていた際、周りの人から「日本で受けるなら、普通の授業と変わらないんじゃない? それ、受ける意味あるのかな? 笑」と言われたことがあります。正直なところ、私もその点に関しては、不安に感じていました。しかし、コロナ禍ということもあり、私の中では、オンライン留学を受けるか、留学自体を諦めるかの二択だったため、オンラインであろうと参加することに決めました。

オンラインでの研修を受けてみて、確かに、現地でのものと比べると、日本語を使う時間も多くなります。しかし、それでも、授業中は先生によるネイティブのドイツ語を聞き、ドイツ語で課題やワークをこなしていきます。授業は平日だけでしたが、平日は毎日ドイツ語の授業を受けてドイツ語を使い、授業外の時間も課題など予習復習を続けていました。日本で授業を受けているだけとはいえ、これほどまで毎日ドイツ語と向き合ったことはありませんでした。もちろん愛媛大学での授業にも真剣に向き合っていました。それには日本語での助けも多くあります。日本語の助けがない中で、ドイツ語と向き合っていくのは、もちろん大変でしたが、その分毎日の繰り返しによって、日々成長を感じることが出来ました。大変さよりも、その喜びや楽しさの方が大きく、毎日もっと頑張ろうと思っていました。

1か月間は、とても充実して楽しく、本当に良い経験でした。そして、短い期間であれ、ドイツ語力の成長を自分自身でも感じる事が出来ました。オンライン研修を受けようか迷っている人、特に、オンラインということで参加する意義をあまり感じていない人に伝えたいのは、「とにかく挑戦してみたい」ということです。少しでもやってみたいという気持ちがあるのなら、不安によって諦めるのではなく、挑戦してみたいです。案外何とかなります。そして、挑戦することに決めた際には、ぜひ積極的に参加してみてください。その積極性、少しの勇気が、皆さんの経験をより良いものにしてくれます。



ドイツ語オンライン研修プログラム基本情報  
期 間：2021年9月2日~9月24日(約3週間)  
費 用：日本円でおおよそ7万円(大学から補助金として3万円頂きました)

卒業式・入学式とも3年振りに  
愛媛県県民文化会館で開催さ  
れました。

# 2021 (令和3)年度 卒業式

2022.3.24(木)

【学位記授与式】

10:00～

愛媛県県民文化会館



## 令和3年度 卒業生数

### ◆総合政策学科

昼間主 5名 夜間主 1名 (計6名)

### ◆人文社会学科

昼間主 282名 夜間主 107名(計389名)

### ◆研究科

総合法政策専攻 2名

人文学専攻 5名

法文学専攻 5名 (計12名)

愛媛県県民文化会館で行われた2021年度卒業式



法文学部生代表  
人文社会学科 池内 響香さん



大学院生代表  
法文学研究科修士課程 平井 清貴さん

## [三木奨学賞]



三木奨学賞を受賞した日浦あいさん



# 2022 (令和4)年度 入学式

2022.4.6(水)

10:00～

愛媛県県民文化会館

## 法文学部入学者数

### ◆人文社会学科

379名

### ◆3年次編入学

31名

### ◆研究科

法文学専攻 8名



# 愛媛大学法文学部同窓会理事会報告

## 2021年度 第2回(通算第84回)理事会

日 時：2021年10月29日(金)  
場 所：メールでの資料送付による持ち回り

### 【報告事項】

1. 新型コロナウイルスの影響と同窓会・大学の現状
2. 第25号会報発行
3. 2021年度同窓会提供講座「社会と人間」
4. 支部活動・支部長会など報告と予定
5. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
6. 総会開催方法について
7. LINEアカウント・俳句募集報告  
LINEアカウントの開設は、プレゼント企画などを定期的に行うことによって、120名(10月15日現在)に登録をしていただきました(右のQRコードから登録できます)。

### 【審議事項】

1. 規約の改定について →承認
2. 次期三役・理事について →承認
3. 顧問について →承認
4. 総会議題項目 →承認



## 2021年度 第3回(通算第85回)理事会

日 時：2022年2月25日(金) 18:00～  
場 所：メールでの資料送付による持ち回り+Zoomでの意見交換

### 【報告事項】

1. 新型コロナウイルスの影響と現状
2. 2021年度同窓会提供講座「社会と人間」終了
3. 2022年度会報編集委員会
4. 支部活動・支部長会など報告と予定
5. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
6. 寄付について
7. 2021年度決算(暫定)について
8. 同窓会運営のIT化について

### 【審議事項】

1. 2022年度の活動計画 → 承認  
1) 新型コロナウイルスの収束が見えない状況の中、同窓会報の発行・支部支援・提供講座・名簿管理・学生支援・監査などの基幹となる活動については滞ることなく進めていきます。  
2) 同窓会報は、同窓会員への大学・学部・同窓会活動の紹介や会員相互の情報交換の場として、9月発行を目指します。  
3) 昨年度に引き続き、支部活動支援および本部・支部間の交流を図るため、Zoomを使用したWeb会議を促進し、支部長会議・事務局長会議などをリモートで開催できるように努めます。  
4) 2020・21年度、リモート講義となった同窓会提供講座「社会と人間」をさらに充実させるため、対面授業およびリモート授業の両方を前提に、講師選定や運営を進めます。  
5) 2020年末に立ち上げ、2021年度に本格稼働したLINEの公式アカウントを活用し、新卒生をはじめ若い世代を引きつけ、同窓会活動に参加してもらうための取り組みを進めます。  
6) 会員からの寄付を活用して、同窓会活動をより活性化し、法文学部学生支援事業を充実させます。  
7) 同窓会名簿の精度を高め、支部活動に有効活用します。  
8) 日常の活動強化の基本となる、明るく活発で民主的な理事會運営に努めます。
2. 2022年度予算案について →承認

## 2022年度 第1回(通算第86回)理事会

日 時：2022年6月24日(金) 18:00～21:00  
場 所：愛媛大学校友会館1F Maple

### 【報告事項】

1. 新型コロナウイルスの影響と現状
2. 2022年度同窓会提供講座「社会と人間」について
3. 2022年度会報編集委員会進行状況
4. 支部活動・支部長会など報告と予定
5. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
6. 同窓会員 会員数報告

2021年9月卒業(修了)生	10		
2022年3月卒業(修了)生	406		
【内 訳】	男	女	計
総合政策学科	6	0	6
人文学科	0	0	0
人文社会科学	167	222	389
合 計	173	222	395
研 究 科	8	4	12

### 【総 計】

文理学部19年(1953年～1971年)	2,222		
法文学部49年(1972年～2021年)	21,239		計23,461
(参考)2022年4月法文学部入学者数	418		
人文社会(昼)	124	155	279
人文社会(夜)	42	58	100
合 計	166	213	379
3年次編入	20	11	31
研 究 科	4	4	8

### 7. 寄付の振込手数料について

1月17日から、郵便局で同窓会へ寄付を振り込む時に、現金の場合は110円加算されるようになりました(郵貯銀行の口座からはゼロ円)。

### 【審議事項】

1. 2023年度提供講座「社会と人間」開講について →承認
2. 「えみか夢基金」「未来教育基金」への寄付について →承認  
「えみか夢基金」へ100万円、「未来教育基金」へ50万円の寄付をしたいと思います。
3. 2021年度決算・監査報告 →承認  
1) 会費収入は、予算を32万円上回り、792万円でした。寄付金の繰り入れが100万円で、利子と合わせ、収入合計は892万2,027円です。  
2) 支出に関しては、新型コロナウイルスの影響によって卒業式・理事会・支部総会などが中止や持ち回り開催となったため、予算を約168万円下回りました。具体的には、交通費(-19万円=対予算、以下同様)、三役会議・理事会(-20万円)、支部活動費(-110万円)、会報発行経費(-22万円)、提供講座関係(-3.5万円)、総会・懇親会費(-40万円)などとなっています。また、予算では寄付金会計に組み込んでいたIT化費用を雑費(ホームページ関係)に計上しています。  
3) 寄付金の収支については別表にまとめていますが、収入が約172万円、支出は振替用紙の作成11万円・払込手数料外(雑費)9万7千円・同窓会活動支援100万円・寄付返礼品20万円・ふるさと応援22万6千円となりました。  
4) 5月9日(月)に監査を行いました。
4. 2022年度予算案について →承認  
1) 収入は、寄付金からの繰入金100万円を含め900万円程度が見込まれます。支出については、新型コロナウイルスの影響が継続する可能性もまだ高い状況ですが、通常同窓会運営ができるという前提で予算組みをしています。初開催予定の事務局長会議費に15万円を計上、会報発行経費は、部数の漸増と送料(ゆうメール)の値上げによって、毎年、徐々に増えています。大学への寄付100万円は寄付金から計上しています。また、単年度の出費として、コロナ対応緊急支援奨学基金への寄付50万円、IT化費用(LINE)50万円を組み込みました。全体としては、継続的な出費として予算とほぼ同額の900万円、臨時的な出費として100万円を計1,000万円程度になる予想です。  
2) 寄付金については、収入は今年度より微減の160万円を見込んでいます。支出は郵便振替用紙の作成に11万円、雑費10万円、同窓会活動支援100万円、寄付返礼品20万円、事務局手当5万円、ふるさと応援分配金22万円、合わせて167万円を予算を組んでいます。

# 俳句コーナー第1回投句 選句結果発表 & 講評

俳句集団「いつき組」俳人 家藤正人です。

さっそくみなさんから寄せられた、第1回の選句結果をご紹介します。

## 冬の朝 しばし待たれよ コーヒーメーカー 虚無民

「しばし待たれよ」の仰々しさがなんだか愉快的な虚無民さん。冷たい「冬の朝」の空気へふわっと匂いが広がっていく時間が豊かでありますな。

よくある俳句への誤解のひとつに「俳句の書き方」があります。実は俳句は五七五の間を空けずに書くのが正しい書き方。しかし間違えてるのは虚無民さんお一人ではありませんよ――

## 春めいて 旅先探す 世界地図 洋の介

## 候ふの 崩し文字や 初講座 門屋 一夫

ここにもお仲間がさらに二人。

洋の介さんは前回紹介した俳句の作り方・尻から俳句を忠実に実践してくださっておりますね。コロナウィルスとのお付き合いももう3年、そろそろ旅行にでも行きたい頃合いであります。

門屋一夫さんは題材がシブい。法文学部でこういう授業ありましたね、江戸期の崩し字を読む的なやつ。わくわく半分、全然読めなくて途方に暮れるの半分。「初講座」が季語になるかはアヤシイけれど、個人的な共感性は高いです。

それでは次の作品を見てみましょう。

## 银杏散る文理学部の木の校舎 貫太郎

ちゃんと兼題「文」の一字が入っております。兼題から生まれた単語は「文理学部」。しっかり光景が見えてくる中七下五がグッドです。僕の時代はコンクリートにはなっておりましたが、愛媛大学法文学部のキャンパスは当時こんな雰囲気でしたなあ。季語「银杏散る」によって鮮やかな色が灯ります。

## 文鳥の小さき墓やそぞろ寒

兎角

可愛がった文鳥が死んでしまったあとに作った小さなお墓。「墓や」と中七で強く詠嘆することで映像が際立ちます。「そぞろ寒」は秋の半ばから晩秋にかけて募る寒さのこと。明確な感情を示す言葉こそ書かれていませんが、取り合わせた季語から作者の心境が察せられます。

## 後の月せめて二語文言えまいか 小田寺登女

子どもは発育段階によって徐々に言葉が増えていくもの。「ごはん ちょうだい」や「あっち いく」などの二語文は2歳のうちから話し始めるケースが多いようです。一見育児俳句のようにも見えるこの句ですが、どうにも季語がアヤシイ気配。「後の月」は旧暦9月13日の月。旧暦8月15日の「名月」から1月後の月のことです。随分とシブい季語のチョイス。う〜ん、もしかすると家庭内の不和や気に入らない同僚への皮肉などなどの可能性もあるかもなあ。「おい」としか言わない夫、ふつふつと怒りを溜め込む妻、みたいな……ううむ、想像すると妙にリアルな迫力が（汗）。

## 優秀3句

## 休講やボールを飛ばす秋の空 玉井 周平

これぞ大学生！ な自由でありますねえ。「や」は俳句の代表的な切れ字のひとつで、直前の言葉を強く詠嘆する効果を持ちます。「休講や」のなんと晴れ晴れと気持ち良いことか！ 野球かサッカーか、あるいはテニスの一打なんて可能性もあるのでしょうか。飛んでいくボールの背景に広がる「秋の空」がどこまでも澄んで広い。

## 丸文字のレシピセロリは好きかしら ふみのまごち 踏野正東風

俳句に対してカッコリした硬いイメージをお持ちの方も多いのですが、こんな話し言葉のような句だってア

りなのです。「丸文字のレシピ」で8音、「セロリは好き  
かしら」で9音、合計して17音になる作り方です。「セ  
ロリ」は冬の季語。冷たい空気にセロリの香気が心地  
良いですね。大学生になって初めて恋人ができた子が、  
こんな風に手書きのレシピ持って買い物行ったりするの  
かな。発想が古い……?? ぎくり。

## 春や祖父へ 消印は鉄砲町

原武

不思議な魅力のある句です。いくつかの読みが想定  
されるなかで、僕が最終的に選んだ読みは過去への追  
憶です。最初は「今、祖父へと手紙を出す」句かと考  
えましたが、そうなるに既に押印されたものを眺めるよ  
うな「消印は鉄砲町」が少し不自然です。そこで僕が  
想定したのは遺品整理などの、祖父の所有品を検分す  
る場面。その際に、かつて作者が学生の頃、祖父に出  
した手紙を見つけたのではないかと。祖父が大事にと  
っておいたであろう作者からの古びた手紙。消印は  
作者が学生の頃過ごした鉄砲町のもの。手紙を手にす  
ることで脳裏に蘇る当時の「春」。新しい生活のことも  
書いて送ったかもしれません。フラッシュバックする記  
憶と、手紙を保管していた祖父への万感の思いに訪れ  
る心の空白を、意図的な一文字分の「 」で表現する  
のも玄人の技。まるで短編小説のような奥行きのある  
一句でした。

以上、第1回の選句結果でした。第2回もぜひご投句  
お待ちしております！

## 次回投句募集

テーマ詠：「学食」。季語は自由。学食という単語を入  
れる必要はありません。学食にまつわる思  
い出などを詠んでください。

※学食の写真をお持ちの方は、送ってくだ  
さい。肖像権がクリアできない写真はそ  
の旨お知らせください。画像処理します。

応募句数：1人5句まで

応募方法：

ハガキ 〒790-8577 松山市文京町3番  
愛媛大学法文学部内  
愛媛大学法文学部同窓会

E-mail support@ehime-u-houbun-dousoukai.com

HP <https://ehime-u-houbun-dousoukai.com/>

締切：2022年11月30日(水)必着

発表：第27号同窓会報にて(2023年9月発行予定)

※HP上では3月末に発表予定です。

選者：家藤正人先生

※優秀作品には賞品を差し上げます。

(選者プロフィール)

家藤正人(いえふじ・まさと)

愛媛県出身。愛媛大学卒業後、本格的に俳句に携わる。夏井い  
つきの句会ライブにてアシスタント経験をつむ。

①愛媛新聞カルチャー教室「働く人と学生のための俳句」講師、  
他派遣多数 ②大阪府/帝塚山学院大学非常勤講師(前期2年務)  
③松山市公式俳句投稿サイト「俳句ポスト365」初心者欄選者  
④南海放送ラジオ「夏井いつきの一句一遊」アシスタント ⑤香  
川県宇多津町「令和相聞歌」(旧：平成相聞歌)企画参加および  
選者 ⑥2019年8月～南海放送ラジオ「家藤正人『一句一遊』  
虎の巻」パーソナリティ ⑦修学旅行生、全国の小・中・高生  
対象句会ライブ講師 ⑧国際交流基金インドニューデリー日本  
文化センター「南アジアオンライン俳句コンテスト」選者

「会報及び同窓会に対するご意見・ご感想」でいただいたご意見について回答いたします。

## Q&A

Q コロナ禍の対策について知りたい。  
A 愛媛大学におけるコロナ禍の対策については、愛媛  
大学危機対策本部会議において審議決定されます。全国  
各地・外国の出身者もいるし、各地域との研究上の交  
流も盛んであることから、愛媛大学においては公的基準  
よりも一段と厳格な対策を講じています。対策の内容は、  
感染状況に応じて時々刻々と変わっていますので、大学  
のホームページでご確認いただくようお願いいたします。

Q コロナ禍で、現在学生がどのように授業を受けているか  
など、現在の学生さんの様子が気になります。  
A 感染状況により異なりますが、対面授業(一部、遠隔授  
業もあり)に戻っています。最新の状況は大学のホーム  
ページでご確認いただくようお願いいたします。

Q 「愛媛大学校友会」には登録していないと会報などを送っ  
てもらえないと初めて知りました。住所も同じようです  
が、この葉書で手続きできないでしょうか。お願いでき  
ればと思います。よろしく願います。

A 愛媛大学校友会と各学部の同窓会とは、連携しています  
がそれぞれが別組織ですので、校友会のホームページか  
ら手続きをお願いします。ただ、本件につきましては、  
住所やお名前を書いておられたので、法文学部同窓会事  
務局から情報提供し、校友会事務局の方からご本人に連  
絡していただくよう依頼しました。

Q 夫婦ですので、同窓会報は一部で良いと以前にも申し上  
げましたが…

A 夫婦や親子で同窓生だなんて、ステキですね。お気遣い  
はありがたいのですが、卒業生の皆さんにお一人1冊す  
つお持ちいただけるようお送りさせていただいています。

Q コロナ禍でサークルはどうなっているのか気になります。  
サークル紹介記事をまたお願いします。

A 一時期は「オンライン活動を除く全ての学生団体・サー  
クル等の活動を禁止する」など厳しく制限されていまし  
たが、現在は、大学側の指導の下、感染防御対策を徹底し  
た上で活動を実施しています。なお、詳細は大学のホーム  
ページでご確認ください。また、サークルの紹介記事  
については、できる限り継続したいと思っています。

Q OBは遠方から愛媛大学に行くことが多いので、もし訪問  
した際に学内に駐車させてもらえるような融通をかかせ  
て頂けたらありがたいと思う。

A 前号でも回答いたしましたとおり、残念ながら車で入構  
いただくことは困難です。近隣の有料駐車場をご利用い  
ただくか、公共交通機関でお越しください。ご不便をお  
かけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

# 愛媛大学文理学部人文学科及び法文学部同窓会規約

## 第1条(名称)

本会は、愛媛大学文理学部人文学科及び法文学部同窓会と称し、愛媛大学法文学部同窓会と略称する。

## 第2条(目的)

本会は、会員相互の親睦を図るとともに、愛媛大学法文学部と密接な連携を保ってその発展に資することを目的とする。

## 第3条(会員)

本会は次の各号の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 愛媛大学の文理学部人文学科卒業生、法文学部卒業生、法文学専攻科修了者、大学院法学研究科修了者、大学院法文学研究科修了者及び大学院人文社会科学研究科法文学専攻修了者並びにそれに準ずる者
- (2) 準会員 法文学部在学学生及び大学院人文社会科学研究科法文学専攻在学学生。ただし、第1号に規定する正会員を除く。
- (3) 特別会員 法文学部教職員
- (4) 名誉会長が特に推薦した者

## 第4条(本部事務局及び支部)

本会の本部を愛媛大学法文学部に置き、本部事務局の住所は(〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内)とする。必要ある時は総会の決議により会員在住の地に支部を置くことができる。

## 第5条(事業)

本会はその目的を達成するために以下の事業を行う。

- (1) 原則として3年に1回総会を法文学部所在地で開催する。
- (2) 必要に応じて会員名簿を発行する。
- (3) 毎年1回以上会報を発行する。
- (4) その他必要な事業

## 第6条(役員)

本会に以下の役員を置く。

- (1) 名誉会長 1名
- (2) 会長 1名
- (3) 副会長 2名
- (4) 理事 30名以上50名以内
- (5) 監事 2名
- (6) 事務局長 1名

2 顧問を置くことができる。顧問は、理事会の決定により、会長が委嘱する。

## 第7条(名誉会長)

名誉会長に法文学部長を推戴する。

## 第8条(会長及び支部長)

会長は本会を代表し会務を統括する。会長は総会及び理

事を開いて会務を策定する。

- 2 会長は、総会において正会員の中から、法学系、経済系、人文系の輪番制で選出するものとし、任期は3年(総会決定後の1月1日から)とする。
- 3 会長に事故あるときは、会長が予め指名する副会長が会長の職務を代行する。
- 4 支部には支部長を置く。会長は支部からの申し出に基づいて、支部長を委嘱する。

## 第9条(副会長、理事、監事及び事務局長)

副会長、理事、事務局長は、第6条第4号の規定に基づいて理事会の定めた理事定数の範囲内で正会員の互選により選出し、総会での承認を受ける。また理事とは別に監事2名をおき、総会で承認を受ける。任期は3年(総会決定後の1月1日から)とし、再任は妨げない。なお理事のうち1名は特別会員中より名誉会長の同意を得て会長が委嘱することができる。詳細は別途「理事選出と理事会運営についての規程」にて定める。

2 副会長は会長を補佐し、本会の円滑な運営に努める。

3 理事は理事会の構成員として、年間の事業計画などを策定する。

4 監事は本会の会計を監査する。

5 事務局長は、理事会の決定に従って会務を処理する。

## 第10条(理事会)

第6条第1項第2号から第6号に規定する役員をもって理事会を構成する。理事会は原則として年3回開催する。構成員の過半数の出席をもって成立とし、出席者の過半数の賛成を持って議決する。

## 第11条(役員補充委嘱)

副会長、理事、事務局長並びに監事が任期中に欠員を生じ会務に支障がある場合は、会長は次期改選までこれを補充委嘱することができる。

## 第12条(会計)

本会の経費は会費及び寄付をもって当てる。資産の管理・運用や経費の支出に関する詳細は「経理規程」にて定める。会計年度は4月1日から翌年3月31日とする。

## 第13条(会費)

第3条第1号及び第2号の会員は入会の際(入学時)終身会費として20,000円を納めるものとする。

## 第14条(住所等変更の報告)

正会員は住所、職業、姓名等に変更を生じた場合及びその他必要な事項はこれを会長に報告するものとする。

## 第15条(改正)

本規約の改正は総会出席者の過半数の同意を必要とする。

## 同窓会規約改定の主要な変更点について

### 1. (第1条関係)

規約名称を「愛媛大学文理学部人文学科ならびに法文学部同窓会規約」から「愛媛大学文理学部人文学科及び法文学部同窓会規約」と変更する。当然、本同窓会の正式名称を「愛媛大学文理学部人文学科及び法文学部同窓会」と変更する。

### 2. (第2条関係)

本同窓会の目的として、「会員相互の親睦を図る」を第一に掲げ、「愛媛大学法文学部と密接な連携を保ってその発展に資する」を次に掲げる。目的の順序変更。

### 3. (第3条関係)

大学院改組による人文社会科学研究科の発足(2020年4月)に伴い、正会員の資格を整理・追加した。(第3条第1号)

新たに、学部在学学生及び大学院在学学生(正会員を除く)を「準会員」として正規の会員に加える。(第3条第2号)

### 4. (第6条関係)

理事の定数を現状に即して「若干名」から「30名以上

50名以内」と変更した。(第6条第4号)

### 5. (第8条関係)

第8条を会長及び支部長についての規定とし、第1項前半の文言を改正前の第10条から移動した。(第8条第1項)「会長に事故あるとき」の職務代行についての規定を追加した。(第8条第3項)

支部長の委嘱について明記した。(第8条第4項)

### 6. (第9条関係)

第9条を副会長・理事・監事・事務局長についての規定とし、第2項から第5項までの規定を、改正前の第10条から移動した。

### 7. (第15条関係)

改正前の第15条の規定を削除した。これに伴い、改正前の第16条が第15条となった。

### 8. (その他)

各条に見出しを付けるとともに、全体として表現や用字を整理した。

法文学部同窓会 理事選出と理事会運営についての規程の改正について

1. (第2条関係)

第2条第2号に規定する理事の定数について、改正前は、「法学科系・経済学科系・文学科系それぞれ同数を原則とする」であったが、「総合政策学科」発足後四半世紀を迎えていることも考慮して、社会科学系と人文系との比率を2:1とすることにし、「法学系、経済系及び総合

政策系と人文系との比率が2:1となることを原則とする」に改正する。(第2条第2号)

2. (その他)

同窓会規約の改正に伴う文言の修正を行い、表記も修正した。

愛媛大学法文学部同窓会

本部新理事 (2022~2024)

役職	氏名	卒年・学科	
顧問	森 孝明	1968 文独	
	小池 昭彦	1970 文経	
	西田 和真	1973 法	
会長	松本 長彦	1981 文	
副会長	重松 直江	1994 経・院	
	畠中 節男	1979 法	
事務局長	鳥生 勉歳	1989 文	
理事【法】	久保 泰敏	1974 法	
	森 敏明	1976 法	
	赤松 英輔	1990 法	
	栗田 謙	1993 法	
	野崎 明子	1993 法	
	梶原 克彦	1995 法	
	野本 学	1996 法	
	大萩 健	1998 法	
	理事【経】	安永 博邦	1973 経
		玉井 周平	1978 経
高田 敬士		1980 経	
渡部 雅泰		1985 経	
黒河 安德		1986 経	
坂本 聡		1987 経	
土井 明人		1998 経	
大西 孝史		1999 経	
理事【総政】	竹本亜希子	2003 総政	
	渡邊久美子	2003 総政	
	大石 祐貴	2006 総政	
	玉井 秀樹	2006 総政	
	遠藤 佳春	2011 総政	
理事【文】	河村 佳和	2017 総政	
	安藤あさみ	1979 文	
	山本 求	1979 文	
	杉野 洋介	1980 文	
	中島 邦雄	1984 文	
	小林 紀子	1989 文	
	山本 明美	1989 文	
	三吉 秀充	1995 文	
	秋山 英治	2000 院	
	熊谷 広行	2001 院	
監事	大和田 風	2018 人文	
	矢野 一彦	1985 法	
	信宮 俊紀	1986 法	

東京章光会 (関東支部)

役職	氏名	卒年・学科	
会長	阿部 仁	1976 法	
副会長	荒木 雅弘	1976 法	
	森脇 孝典	1979 経	
幹事長	清水 栄治	1981 法	
幹事長補佐	浅野 実	1982 法	
事務局長(兼務)	荒木 雅弘	1976 法	
事務局長補佐	大村万夢里	2008 総政	
会計担当(兼務)	荒木 雅弘	1976 法	
会計担当補佐	橋本 京子	1977 法	
監事	三宅 一夫	1968 経	
	三村 藤明	1977 法	
	河田 新一	1963 経	
幹事	宮本 潔	1968 法	
	西岡 真吾	1970 経	
	西迫 和則	1983 経	
	田中 英三	1983 法	
	安岡 博美	1993 文英	
	森原 寿宣	1994 法	
	芝崎 尚史	1999 法	
	庵下 智洋	1999 法	
	顧問	大西 盛美	1954 法
		高田 恒夫	1957 経
森田 正		1958 法	
松岡 勝博		1963 法	
高崎 泰典		1968 経	
太田 重明		1968 法	

にきたつ会 (関西支部)

役職	氏名	卒年・学科
顧問	後藤 幹郎	1960 法
	大久保貴太郎	1962 法
	和田 哲治	1968 法
会長	岡本 正明	1967 法
副会長	安藤 雅夫	1957 経
	平田 篤資	1968 法
	澤井 達夫	1972 法
会計	岸川 良蔵	1979 文独
会計監事	山岸 治	1973 法
事務局長	赤星 勝	1968 経
事務局	合田 文男	1970 法
幹事	坂本 維之	1966 経
	細川 浩希	1968 法
	前田 拓	1970 法
	天羽 茂喜	1970 法
	島田 光照	1979 法
	居林 順二	1995 経

幹事	吉富 太郎	1998 法
	中西 龍太	1999 法

広島支部

役職	氏名	卒年・学科
支部長	岡田 禎之	1965 文法
副支部長	難波 宜久	1987 法
事務局長	品川 瑞	1993 法
幹事	村上 道機	1968 文法
	梶原 勝	1988 経
	松本 亜紀	1993 法
	大西 慎也	2006 総政

四国支部

役職	氏名	卒年・学科
顧問	井手 康夫	1953 文経
	前田 繁一	1955 文法
	白石 隆	1956 文法
	仙波 太郎	1959 文史
	森 孝明	1968 文独
	小池 昭彦	1970 文経
	宇都宮真由美	1973 法
支部長	宇都宮真由美	1973 法
副支部長	玉井 周平	1978 経
	中島 邦雄	1984 文史
事務局会計	和氣坂ハナミ	1996 文
事務局長	鳥生 勉歳	1989 文地
事務局	白井 瞳	1964 文国
	久保 泰敏	1974 法
監査	西田 和真	1973 法
	竹本 道代	1978 法
	渡部 浩三	2008 院
幹事	廣田 章子	1966 文国
	毛利 修三	1967 文法
	平良 稔	1968 文経
	亀岡 謙治	1968 文地
	兼久 良二	1970 文経
	池川 孝文	1972 法
	菊地 久男	1975 法
	河内 泉	1978 法
	山下 忍	1978 法
	花井 和司	1979 経
	松本 長彦	1981 文哲
	渡部 雅泰	1985 経
	村上 和恵	1989 文
	尾崎 主幸	2000 法
	寒作 典員	2000 総政
大石 祐貴	2006 総政	
遠藤 佳春	2011 総政	

## 1983年卒業 片上 智英 [文学科]

### 一生の宝物

私、教養課程から専門課程へ移行して、数日だけ大学に行ったのですが、それ以降は約3年の間、何と1日も学校へ通いませんでした。そして6回生になった時に大学へ復帰しようと発起し、指導教官の先生にそれまで全く連絡をしなかったこと等、不義理をお詫びし何とか許可をいただき復帰することができました。私は文学科、昭和51年4月入学(松本長彦先生と同期です)、そして昭和58年3月に卒業になります。7年かけて卒業できました。専攻は東洋史、先生は牧野修二 御大でした(6回生の時、大学復帰してからは同じく東洋史の若江賢三先生にも大変お世話になりました)。

当時の牧野先生のゼミは、『元典章』(大元聖政國朝典章)という中国の「元」の時代の判例集を読み下すというおぞましいゼミでした(当時は強くそう思っていました(笑))。牧野先生のゼミ生は毎年少人数だったのですが、私が復帰した時はいろいろ偶然も重なって、なぜか私1人になっていました。数人いれば誰かに1項目(1判例)ずつ読むように当たって行くのですが、1人でしたので全部当たるワケです。1人で全部読んで行かないといけないワケです。「ウワ、これは大変!」と相当ビビったのですが、快く復帰を許可していただいたのだからやって行くしかありません。

もとはと言えば、専門移行してから1度だけゼミに出席したのですが、ろくろく予習もしないままで何とかなるだろうとエラそうに出席したもんですから、見事にノックアウトされ、この『元典章』は俺には箸にも棒にもかからないな、これはアカンと逃げ出してしまいました。他にも、同じ愛大生の彼女と別れてしまったりだとか、お隣の大学でやっていた音楽活動に身が入らなくなってしまったりだとか、今考えればどうでもいいようなことが要因で大学へは何となく行かなくなってドロップアウトしてしまいました。大学へ行かなかった約3年の間は、ギャンブル三昧とアルバイト……とても人には言えない荒んだ生活を送っていました。大学も完全に辞めるつもりでしたが、いろいろあって何とか卒業だけはしようと思い直し、牧野先生にお願いし復帰できたのでした。

その復帰後の最初のゼミでのことです……。その一週間前に、牧野先生から「ゼミではこれを読むから」と『元典章』の一部のコピーを手渡されました。それはもう、とんでもない漢字の羅列にしか見えませんでした。点も丸も全くない漢字の羅列です。……これを読まないといけないのか……と、また再び逃げ出したいなってしまいました。が、お願いして大学復帰したので、もう逃げることはできません。何とかやらないといけません。授業の合間は全て、そして土曜の午後と日曜はまるまるどっぷり先生の研究室で、『大漢和辞典』、『字源』、先生が作成された史料等々とガッツリ向き合っ一週間、何となく読めるかな、というくらいまではできたつもりで臨んだその最初のゼミでした……。

初めの20分間くらいは、つまりながらも何とか読むことができました。そして、ある一文をわりと自信ありげに読んだ時です。先生から「そうは読めないでしょう……」

という言葉が……。私……えっ、違うのか、どう読めばいいんだろうと10分くらい考えてまた読んでみました。先生……「そうは読めないと言ってるでしょう。」私……「……」、もう頭の中は大パニック、それでも何か言わないといけなそうと思ひ、また読んでみました。先生……「そうは読めないと言ってるじゃないですか。」私はもうどうしていいのかわからなくなり、全くのパニック状態。頭の中は大混乱、冷や汗の連続で一刻も早く逃げ出したいなりましたが、そういう訳にも行きません。結局、この同じやり取りが延々約2時間続いた後、「では、来週までに読んで来るように。」の先生のひと言で初日のゼミは終了でした。愕然としました。私にとっては、地獄としか思えない2時間でした。1対1の状況です……この2時間が「永遠」にしか感じられなかったです。ただ、このことがきっかけで、中途半端じゃ通用しないし誤魔化しはきかない、きちんと読めるようにならないと、の意を本当に強く持てました。

そこから半年間、先生の研究室に一人でほぼ籠もりきり、許す限りの時間を『元典章』を読むことのために当ててみました。するとどうでしょう、漢字の羅列にしか見えなかったものが、辞典なしで読めだしたではありませんか。箸にも棒にもかからないとしか思えなかったものが、普通に読めだしたのです。そして当初は想像さえしなかったことですが、『元典章』に対して愛着すら湧いて来ました。これには本当に自分でもビックリしてしまいました! 大げさかもしれませんが、この時、人間の能力というものはなかなかスゴイんじゃないか、と初めて思うことができました……。

その後、社会に出てからも困難そうにみえる状況はいろいろな面であったのですが、まあ何とかなるんじゃないかと思えることができたし、実際にそのようになって来ました。もうひとえに、『元典章』と格闘し鍛えられた経験のお蔭だと思っております。『元典章』を通じて得た経験と、思い感じたことは私の「一生の宝物」になりました。

牧野修二先生、本当にありがとうございました。私のようなできの悪い学生に対して、よくぞ2時間「そうは読めないでしょう。」と言いなながらも「待つ」事をしてくださいました。相当ガマンが必要だったことでしょう。そして、1対1のゼミを受けさせていただいたことは、云わば、とても贅沢な掛け替えのない時間をいただいたことだと思っております。心より感謝致しております。それと、6回生で大学に復帰してから、私の卒業のためにいろいろお力添えをいただいた、若江賢三先生にも心より感謝致します。ありがとうございます。

もう、素晴らしい先生方に巡り会うことができ、掛け替えのない経験を、そして卒業することができた愛媛大学でした!

本当にありがとうございます!



## 2020年卒業 丸岡 遼 圭

[人文社会学科 人文学コース]

### 長くも短かった4年間

大学生生活の4年間はあっという間とよく言われるが、私の大学生生活はまさに走り抜けたようなあっという間の4年間だった。にもかかわらず、4年間の思い返しても鮮明に様々な思い出が頭の中に蘇るのは私の体感以上に密度の濃い時間を過ごせていたからであると思う。

1回生の私は友人に誘われ、法文学部新歓学祭実行委員会(通称:HSG)に所属することにした。年間通して様々なイベントを運営する本委員会では、常に何らかのイベント準備・運営を行っており、私が当初想像していた緩いキャンパスライフとは真逆に位置する非常に忙しい委員会であった。それでも私が4年間辞めずに続けたのは、イベントごとに感じる達成感が非常に大きかったからだと思う。同回生や先輩方とともにトライ&エラーを繰り返しながら、イベント成功という共通の目標に向かいやり遂げた後の達成感は、言葉には言い表せないものがあった。



右から2番目

また、私は法文学部代表として学生代表者会議に参加した。ここで私は、他学部の代表者達と共に大学全体のことを考え、まとめたものを大学長の前でプレゼンするという一般的な大学生活を送ってれば経験し得ない非日常な日々を過ごした。各学部生に対して大学に改善を希望することというアンケートを取り、その中からいくつか選抜したものを更に具体化させるための会議を何度も繰り返した。会議を繰り返す中で、学生側の改善要求内容が、実は大学の定める規定内で既に

対応可能なものであるものも多くあった。自身の希望を相手に求めるには、大前提として自分自身が相手のことをある程度正確に把握しておく必要があると改めて感じた。この時の気付きは、就職活動においてとても重要な意味を持った。

就職活動中における最初の難関は、エントリーシートだった。特に「ガクチカ」について書くにあたって、単に私が大学生活中に行ったことをつらつらと書いても自己アピールとしては弱すぎる。そう感じていた時にふと、自己の希望・要求を通す為の大前提として相手を知ることが重要だと実感した学生代表者会議のことを思い出した。それから私は、今まで通り各企業のサイト情報を見るだけでなく、過去の企業遍歴やメディア出演についてなどあらゆる情報を徹底的に調べた。これにより、企業ごとに適したエントリーシート文書が作成出来た。現在私は筆記具メーカーに勤務しているが、社会人になった今も「相手を知る」ことが業務遂行にはとても重要であると感じている。



前列1番左

先にも述べているが、私の想像していたキャンパスライフは友人と講義を受け、バイトをしながら遊ぶためのお金を稼ぐようなザ・大学生という緩いものだった。そんな私が学部代表として大学全体について会議を繰り返しているとは、入学当初の私は露程も思っていなかった。思っていた大学生活を送ることは出来なかったが、周囲と連携しながら共通目標に向けて協力することで得られる達成感や、内側にだけでなく外部に視野を広げることの重要性は想定外の大学生活を送ったからこそ身につけられた。今後の人生にどれだけの想定外が待ち受けているかは想像し難いが、それらを自身の糧としながら今後も走り抜けていきたい。

# 退職された教員の方々

- ① 愛媛大学にいられた年
- ② 所属の学部学科
- ③ 研究・専門について



## 小川 勉先生

- ① 1984年(昭和59年)5月
- ② 法文学部人文学講座
- ③ 英語学、統語論

**出生地** 岐阜県  
**最終学歴** 名古屋大学大学院文学研究科博士課程前期修了  
**学位・称号** 文学修士  
**所属学会** 日本英文学会、日本英語学会、近代英語協会

1984年5月、法文学部(文学科)に赴任してからおよそ38年が過ぎ、2022年3月、教員生活を終えました。

赴任するまでは「黒板に向かう側」でしたが、赴任後は「黒板を背にする側」になり、当初は戸惑いがありました。しかし、自分が学部、大学院で受けた教育を参考に少しずつ工夫を重ねることで、授業を行うことに慣れていきました。

1997年8月から1年間、在外研究でアメリカに滞在した時に、アメリカトップレベルの大学の学部および大学院の授業を受けた事も貴重な経験となりました。

演習の授業は「生成統語理論」の専門書(英文)を使い、学生と一緒に読み進めていくというものでした。受講生にとっては大学で初めて学ぶ内容であることに加え、受講生が少人数のため、ほぼ毎回の授業担当(レポート)がありその準備が大変であったと思います。

研究では学部、大学院で学んだ専門領域の知識を深め、英語諸構文の特徴を記述することと並行して生成文法理論を用いた統語分析を行ってきました。当初はシェイクスピアの英語(初期近代英語)を対象としていましたが、研究を進めるうちに、シェイクスピアの英語の特徴を受け継ぎながらも、同時にアイルランド語の影響を受けて成立したアイルランド英語の統語分析が中心となりました。

授業や研究以外の思い出としては、長年実現が待たれていたアメリカでの語学研修を2019年3月に実施したことです。前年には同僚の教員と二人で実施機関の新規開拓のために複数のアメリカの州立大学付属語学学校を訪問し、何度も交渉を行った結果、その中の一つであるInternational English Center, University of Colorado Boulder で実施することを決定しました。2週間ではありましたが、参加学生はホストファミリー宅に滞在し、アメリカの生活も経験することができました。

最後になりましたが、ホームカミングデイで卒業生のみなさんに会えるのを楽しみにしています。



## 菅谷成子先生

- ① 1997年(平成9年)4月
- ② 法文学部人文学講座
- ③ 東南アジア史、フィリピン史

**出生地** 奈良県  
**最終学歴** 奈良女子大学大学院人間文化研究科(博士課程)単位修得退学  
**学位・称号** 文学修士  
**所属学会** 東南アジア学会、日本華僑華人学会、東洋史研究会、愛媛大学人文学会等

1997年4月に、発足2年目の法文学部人文学科に、新たに導入された「東南アジア文化論(後に東南アジア史)」や初修外国語「フィリピン語」の担当者として着任しました。当時は前年3月の教養部廃止の余波で組織上・人間関係上、複雑な事情がありましたが、前任の名古屋女子大学短期大学部では、家政系の「日本服装史」「西洋服装史」が主担当でしたので、大変ありがたく思ったことを覚えています(ただ力不足もあって、それらの科目がクローズになったことは心残りではありません)。

それ以来、25年間の在籍中には、2004年4月の国立大学の法人化があり、教官・事務官から教職員となるなど、様々な改革や変遷がありましたが、お陰様で、多くの方々の支えがあってなんとか大過なく過ごすことができましたこと、感謝しております。ありがとうございました。

最後の指導学生は、こちらに赴任後に生を享けた学生ばかりで「25年」という歳月の意味を噛みしめるとともに、これらの学生の大学卒業までの成長に引き換え、自身はどれだけ成長したのかと考える部分もあります。

また退職前の2年間は先の見えないコロナ感染症への対応に学部教務委員長などとして忙殺され疲弊した部分もありました。ただ遠隔授業のために、それまで避けてきたICTにも最低限は対応する必要が生じたことは、高齢になっても新たな知識の習得や技能に対応する態度の涵養には益するところがあったのかもしれない。

ロシアによるウクライナ侵攻をはじめとする世界の諸情勢、日本の(大学を取りまく環境を含む)政治・経済・社会の状況、また多様性が叫ばれる一方、「分かりやすさ」を求め「(規則やマニュアルに従う)思考停止」する風潮、さらに「フェイクニュース」の問題などを考えると、必ずしも楽観できない重大な局面にあるのではないかと胸が塞がれる気もします。ただ歴史研究、東南アジア史に従事してきたことを踏まえて、今後も時々適切な判断ができるように心がけていきたいと思っています。



## 松本長彦先生

- ① 1990年(平成2年)
- ② 法文学部人文学講座
- ③ 哲学・哲学史、カントを中心とするヨーロッパ近代哲学

**出生地** 高知県高知市  
**最終学歴** 広島大学大学院文学研究科博士課程後期単  
 位修得退学  
**学位・称号** 文学士、文学修士  
**所属学会** 日本哲学会、日本カント協会、日本フィヒテ  
 協会 等

1990年に8年ぶりに愛媛大学に帰ってきてから、早いもので32年経ちました。最初の研究室は、法文学部本館3階増築部分の北側（現在の人文学講座事務室東半分）にありました。窓から御幸寺山が見え、赴任初日研究室に入った時に、これから毎日この山を見ながら過ごすかと思ったことを覚えています。その後、移転によって一時本館7階に居たこともありましたが、本館4階南側の研究室に移って、20年弱の間は松山城を見ながら過ごしてきました。

3階の研究室では、学生諸君と読書会をやっていたこと（ハイデッガーの読書会では山本與志隆先生も一緒でした）、早くにお亡くなりになった杉山聖一郎先生がよく研究室を訪ねてこられて、いろいろなお話をさせていただいたこと、毎週土曜日に溝口兢一先生と杉野祥一君と一緒にハイデッガー全集『現象学の根本諸問題』の翻訳作業をやったこと（これがなかなか進みませんでした）等々、いろんな思い出があります。

4階の研究室に移ってからは、学生との読書会も少しだけやりましたが、むしろ管理運営関係の仕事（雑用）が多くなりました。当時教育担当の理事で教育・学生支援機構長をしておられた柳澤康信元学長が突然研究室を訪ねてこられて、新設するアドミッションセンターのセンター長をやれ、と言われたことも、今では遠い思い出です。当時は副学部長でしたので、全学との関係を考えて、法文学部と人文学科のためには断るわけにはいかないだろう、と思ったのが間違いだったのかもしれない。その後、全学の管理運営に携わり、研究もそうですが、特に哲学教室の学生諸君の教育がおろそかになってしまったことは否めません。研修旅行やワインパーティー等で楽しく交流することはありましたが、もっと何かしてあげられることもあったのではないかという思いもあります。その点は申し訳ないと思っています。

しかし、32年間の教員生活そのものは、好きな研究ができ、学生諸君や同僚の先生方と様々な交流ができ、基本的には楽しいものでした。感謝しております。

最後になりましたが、愛媛大学と法文学部の発展を衷心よりお祈りいたします。



## 吉田正広先生

- ① 1996(平成8)年
- ② 法文学部人文学講座
- ③ 西洋史・イギリス現代史

**出生地** 神奈川県横浜市  
**最終学歴** 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位修得退学  
**学位・称号** 文学修士  
**所属学会** 政治経済学・経済史学会、社会経済史学会、歴史学研究会、千葉史学会

私は、1996年(平成8年)に法文学部に赴任しましたが、それ以前から松山には縁がありました。高校の修学旅行では四国一周を選びました。1974年頃ですので、新幹線は岡山までしか開通していませんでした。宇高連絡船に乗ったはずですが、それよりも、香川、徳島、高知をバスでめぐって最後に松山から水中翼船で尾道まで航海した記憶が鮮明によみがえります。そのあと、1990年(平成2年)に松山大学において社会経済史学会の大会があり、当時非常勤講師の職しかなかった私は、研究業績を上げなくてはと必死の思いで報告しました。また、法文学部経済学科の「西洋経済史」の公募に応募したこともありました。当然、「貴意に添えません」という結果でした。

1996年(平成8年)という教養部解体の年に、縁あって法文学部人文学科に西洋史担当教員として職を得ました。赴任してしばらくは学部の管理運営とはまったく縁がなく、自由に研究できたはずですが、授業の準備に時間をとられました。西洋経済史、金融史の研究を進めていた私にとって、人文学科での西洋史関係の授業は、その準備にも、また学生に関心を持ってもらうためにも、なかなか苦しいものがありました。ただ、指導生が希望する西洋近代史のどの分野にも対応しようと、幅広い地域や時代の研究を私自身が勉強する中で、少しずつ自身の研究も変わってきました。また、「四国遍路と世界の巡礼」研究に関わる中で、「イギリスにおける第一次世界大戦の戦死者追悼」というテーマを見つけ、何とか現役最後の年にその成果の一部を図書にまとめることができました。

最後の4年間は法文学部長という名誉ある仕事も任せられました。学部をまとめるのは大変なことを痛感しながら、また、地方国立大学における理系優先の風潮の中で、文系学部としての法文学部の方向性を模索しつつ、精一杯努力したつもりです。みな様、ご協力ありがとうございました。今後の法文学部の発展をお祈り申し上げます。

# 愛大今昔 Vol.2

## 法文学部の歴史、建物配置図を通して

愛媛大学 総合情報メディアセンター 教育支援者 菊川 昭治  
(1979年 文学科卒、1980年 法文学専攻科卒)

前号に引き続き、愛媛大学の変遷を追ってみたいと思います。

昭和37(1962)年から39年にかけては、文京3番地区への文理学部、工学部の移転統合などにより、新規建物建設のラッシュ時期だったようです。その変遷を「愛媛大学要覧」の表紙に使われている航空写真で巡っていきましょう。

写真⑨は、昭和35年度のもので、正門の南側には建物は無く、野原という雰囲気です。

現在のミューズの建物を除いては、全て木造の校舎になっています。400mトラックの北側にはテニスコート等があり、その北の現在、体育館やプールがある辺りは教育学部の農園だったようです。

写真⑩は、昭和38年度のものになり、正門の南側に工学部の建物ができています。



写真⑨



写真⑩



写真⑪

写真⑪は、昭和39年度のもので、図書館の建物ができています。

この地図（図C）は、昭和43（1968）年のもので、文理学部が法文学部、理学部、教養部に改組された年になります。



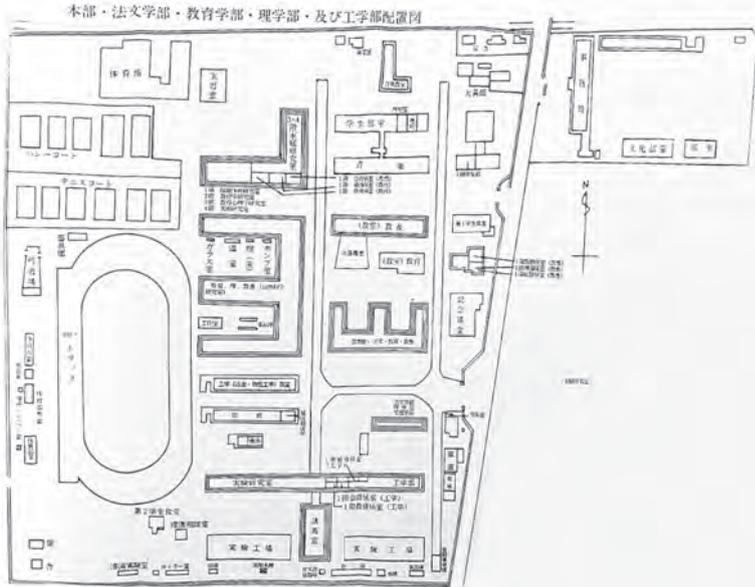
図C

写真⑫は、昭和43年度のものになり、図書館と工学部間に文理学部棟ができています。



写真⑫

本部・法文学部・教育学部・理学部・及び工学部配置図

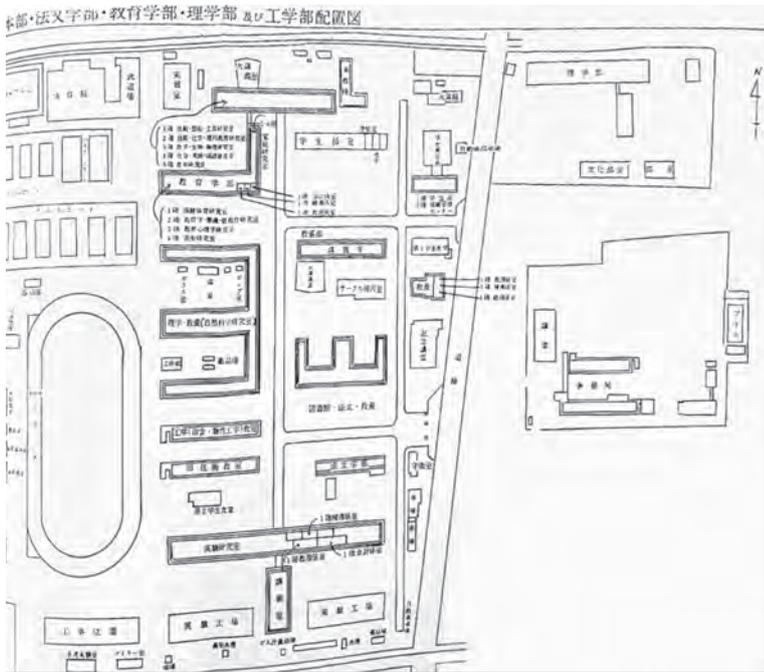


写真⑬

写真⑬は、昭和44年度のもので、本部・法文学部・教育学部・理学部及び工学部配置図となっています。

法文学部、理学部、教養部に改組されていますが、建物は共用していたみたいです。現在の共通講義棟Aは、文理学部の教室から教養部の講義棟になり、大講義室（現グリーンホール）も整備されています。

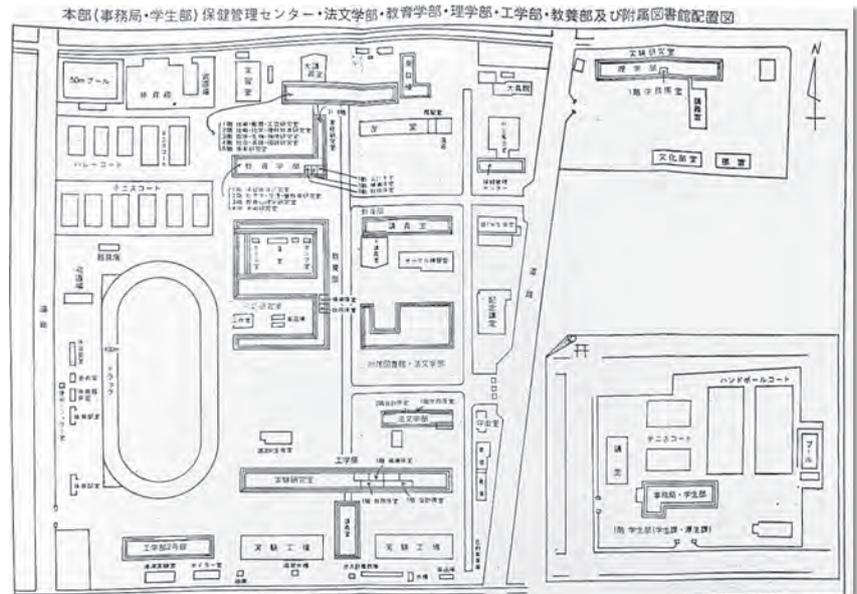
文京町3番地区の北西隅には昭和43年頃に整備された体育館（現在の第一体育館）があります。



写真⑭

現在の理学部敷地（文京町2番地区）には、まだ事務局がありました。次の写真⑭（昭和45年度）では、理学部棟が整備され、事務局は、現在の道後樋又地区（旧附属小学校敷地）に整備されています。北西隅には、50メートルプールも整備されています。

写真⑮は、昭和50年度のものであり、私（菊川）が法文学部文学科に入学した年のものになります。事務局のある道後樋又地区には、テニスコートやハンドボールコートが整備され、附属小学校当時のプールも残っていました。流石に小学校のプールだけあって、とても浅く、夏休みに子供水泳教室が開かれていました。附属小学校当時の講堂も残っていて、入学時の健康診断会場だった記憶があります。



写真⑮



写真⑯

写真⑯は、昭和50年度のものですが、重信地区の医学部・附属病院が建設中です。

昭和50年以降は、私（菊川）が学生、職員として約45年間を城北地区で過ごしてきたので、まだまだ残っている写真などを元にお話しできるのですが、締め切りが迫ってしまいました。また、コロナ禍の中で原稿を書いていたのですが、高熱が出たり（幸い陰性でした）、肺に膿が溜まったりするなど体調管理にも失敗して、前半部に比して後半部を端折り過ぎました。



# 同窓会 提供講座 『社会と人間』

## 報告

15年目を迎えた提供講座は、前年と同じく、新型コロナウイルスの感染対策で対面での授業ができず、オンライン配信で、2021年10月6日(水)から2022年2月2日(水)まで15回にわたって開講されました。

学生はZoomを使ってアクセスし、講師は大学内の1室あるいは自宅などの遠隔でカメラに向かって授業を行いました。遠隔授業2年目で運営側・講師ともに少し慣れたこともあって、無事15回を終えることができました。

担当の秋山英治先生・松原英世およびお手伝いいただいた学生の皆様には、多大なご負担をおかけしましたが、最後までしっかりと運営して頂き、ありがとうございました。

最終回の2月2日には、アシスタントの学生3名に松本会長から感謝状と記念品を贈呈しました。なお、例年行われている講師陣との反省会・懇親会は今回も中止といたしました。

回	テーマ	担当日	担当講師名	現職
1	ガイダンス	10/6	西田 和真	愛媛大学法文学部同窓会 会長、元松山税務署長
2	警察官として働く	10/13	坂本 萌花	愛媛県警察本部警務課採用係
3	金融業界で働く	10/20	松下 行男	株式会社伊予銀行 人事部
4	航空業界で働く	10/27	山田 唯	高松空港株式会社 空港営業部マネージャー
5	アナウンサーとして働く 働く女性の現在	11/10	後藤 珠希	オフィスラブリ フリーアナウンサー(司会・ナレーター)
6	IT業界で働く	11/17	伊藤 佑介	サイボウズ株式会社 カスタマー本部 ローカルブランディング部 プロジェクトマネージャー
7	教育の現場で働く	11/24	植田 孝裕	西予市立野村中学校 教諭
8	弁護士として働く	12/1	玉井 秀樹	親和法律事務所 松山事務所長

回	テーマ	担当日	担当講師名	現職
9	放送業界で働く	12/8	細谷 佳菜	日本放送協会 制作局(第1制作ユニット)教育・次世代 ディレクター
10	起業家として挑戦	12/15	芳野 裕士	株式会社 GOOD FIELD 社長
11	松山市職員として働く	12/22	阿部 由佳	松山市役所 保健福祉部 障がい福祉課 主任
12	小売業で働く	1/12	梅本 葉月	株式会社フジ 生鮮食品事業部 マルシェ事業運営部 本部リーダー
13	学芸員として働く	1/19	田中 謙	今治市教育委員会事務局宮窪地域教育課教育担当係長 兼村上海賊ミュージアム主事
14	新聞記者として働く	1/26	石下 奈海	株式会社中国新聞社 尾道支局
15	まとめ	2/2	松本 長彦	愛媛大学法文学部同窓会 副会長、愛媛大学法文学部教授

### 提供講座の受講生に対するアンケート結果

#### ■Zoomを使った授業方式について■

とても良かった 63.2% やや良かった 33.3%  
あまり良くなかった 3.4% まったく良くなかった 0.0%

#### ■先生方の話は参考になりましたか?■

とても参考になった 76.9% やや参考になった 23.1%  
参考にならなかった 0.0%

### 印象に残っている言葉・影響されたこと

学為己/学芸員になると仕事の域が思いのほか広い/  
「○○した方が良い」という言葉を真に受けない考え方/フリーランスで働くことを考えるようになった/  
辞めてもいいという精神状態にいる/誰でも最初は素人/学友の良さについて語られていた先生が少なくなかったこと/収入だけにとられると道がそれていく/長所は当たり前に行っていることの中にある/道をどう選ぶかも大事だが選んだ道をどう生きるかの方が大事/聞き手の技量を磨く

## 2022年度 提供講座開講のお知らせ

回	テーマ	担当日	担当講師名	現職
1	ガイダンス	10/5	松本 長彦	愛媛大学法文学部同窓会 会長、愛媛大学名誉教授
2	警察官として働く	10/12	大野 雄毅	愛媛県伊予警察署 生活安全課 生活安全主任
3	放送業界で働く	10/19	細谷 佳菜	日本放送協会 クリエイターセンター(第1制作センター)ディレクター
4	脚本家という仕事	10/26	岸本 卓	脚本家
5	教育の現場で働く	11/2	植田 孝裕	西予市立野村中学校 教諭
6	製造業で働く 働く女性の現在	11/9	谷水 恭子	三浦工業株式会社 人財統括部 統括部長
			岩村 菜央	三浦工業株式会社 食機・メディカル設計管理課
7	アナウンサーとして働く 働く女性の現在	11/16	後藤 珠希	オフィスラブリ フリーアナウンサー(司会・ナレーター)
8	真珠養殖業で 地元を盛り上げる	11/30	山下 奈美	山下真珠株式会社

回	テーマ	担当日	担当講師名	現職
9	学芸員として働く	12/7	田中 謙	今治市教育委員会事務局宮窪地域教育課 教育担当係長兼村上海賊ミュージアム主事(村上海賊ミュージアム学芸員)
10	弁護士として働く	12/14	宇都宮真由美	かちまち法律事務所
11	IT業界で働く	12/21	伊藤 佑介	サイボウズ株式会社 カスタマー本部 ローカルブランディング部 プロジェクトマネージャー
12	愛媛県庁で働く	1/11	西谷 幸真	愛媛県観光スポーツ文化局 スポーツ局地域スポーツ課 主任
13	小売業で働く	1/18	梅本 葉月	株式会社フジ リテイリング 生鮮食品事業部 マルシェ事業運営部 係長
14	金融業界で働く	1/25	業師寺正義	株式会社愛媛銀行 ソリューション営業部金融コンサルティング室
			利田 柚紀	株式会社愛媛銀行 本店営業部
15	まとめ	2/1	畠中 節男	愛媛大学法文学部同窓会 副会長、元四国アライアンス証券株式会社 監査役

# 講師の方に感想をお聞きしました！

## 第6回「IT業界で働く」

サイボウズ株式会社 カスタマー本部  
ローカルブランディング部プロジェクトマネージャー

伊藤 佑介



昨年度、「IT企業で働く」というテーマでお話をさせていただきました。IT企業というと文系の学生さんにとってはあまり馴染みのない分野ではないでしょうか。私自身、まさかIT企業に就職するとは思っていませんでした。学生当時、法職や行政職などを中心に検討していたのですが、3回生の冬、学部内で開催された就活講座に参加し「サイボウズ」という企業を知ったことをきっかけに今に至ります。

振り返って、例えば就職を考えた時、業界や職種を絞って目指すことも1つの方法ですが、一方で選択肢を広く多く持ち、その中から選択することも大切だと感じます。受講された学生さんにとって、本講座、そして私がお話させていただいたことが、選択肢を見つける1つのきっかけになれば幸いです。

また、冒頭で「IT企業は文系学生に馴染みがない」と記載しましたが、本学部においては“文系学生のためのデータサイエンス入門”といったIT講座にも注力されていると伺っております。

“DX（デジタルトランスフォーメーション）”が求められる社会だからこそ、従来のIT＝理系エンジニアではなく、データやITツールを利活用できる文系人材の必要性が高まっていると感じます。私も卒業生として、そしてIT企業に勤める者として、本学部からそうしたデジタル人材が創出されることを期待しています。本講座に参加されていた学生さんとは今後同じ社会人としてお仕事などで関わることもあるかもしれません。そう考えると今から本当に楽しみです。

最後になりますが、こうしたご縁をいただきました先生方、同窓会事務局の方、講師の方々には心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。

## 第12回「小売業で働く」

株式会社フジ・リテイリング  
生鮮食品事業部 マルシェ事業運営部 係長

梅本 葉月



「小売業で働く」というテーマで、学生時代の研究や就職活動、入社してから現在の仕事内容などについて、お話しさせていただきました。

この法文学部同窓会提供講座は、私も学生時代に受講させていただいておりました。様々な業種で働かれている方のお話を聞くことができ、毎週楽しみにしておりました。社会人となり、講師としてお声がけいただき、大変光栄に思います。

今回、講座内容を考えるにあたり、自分自身の大学生活や入社してからのことを振り返る機会となりました。私は総合政策学科地域コースに所属し、まちづくりの勉強をしていました。調査で行った高知県の限界集落では、スーパーが1軒もなく、週に1回来る行商を利用していました。住民から「家族に頼むよりも自分で商品を見て選んで買うのが楽しみ」と聞き、買い物できる場所の重要性を実感しました。また、レデイ薬局でのアルバイトでは、店長が学生にも売り込みたい商品や売上目標を教えてくれたり、なじみのお客さんができたりして、商売や接客の楽しさを知りました。そういったことが、今の会社に入った原点になっているのではないかと改めて気が付きました。

オンラインでの講義となり、受講生の顔を見ることができず、みなさんが聞きたい内容になっているかどうか、不安に思っていました。しかし、質疑応答の際には、読みきれないほどたくさんの質問をいただき、画面の向こうで聞いてくれていたのだと、ほっとしました。講義を聞いてくれた方が、少しでも小売業で働くことに興味を持ってくれたり、商品の先にいる作った人たちのことを思い出したりしてくれたりと思います。

地域の役に立ちたいという気持ちは、愛媛大学を卒業した頃から変わりません。これからも学んだことを活かしていきたいと思います。この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

# 愛媛大学法文学部同窓会へ御寄付いただきました皆様の御芳名一覧

(令和4年3月末現在)

愛媛大学法文学部同窓会への寄付のご協力に心より御礼申し上げます。本時点までに御寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここに御芳名を掲載させていただきます。(50音順・敬称略)なお、御芳名の掲載については、同意をいただいた方のみとなっております。その他多数の皆様からの温かい御支援を頂戴し、深く感謝申し上げます。

## 【ア行】

明石 幸一	赤瀬 晃也	赤根 有紀	赤星 勝	穂岡 謙治	秋山 久恵	荒井 源雄	荒木 敬
安藤あさみ	猪川絃佐久	井川ちづ子	池川 孝文	池田 正幸	池邊 英貴	石川 公寛	石住 勝憲
石住 泰子	石田 忠勝	伊勢元忠伸	一ノ宮孝司	伊月 知子	伊藤 眞平	猪野 和志	井上 親
井上 政清	今井 愛子	今永 修	今村 威	岩城 博年	岩崎 俊夫	上田 将輝	上松香代子
宇治木大輔	後川 統	内村 浩三	宇都宮温子	宇都宮眞由美	遠藤 佳春	大岩 義雄	大串近太郎
太田 重明	太田 敏郎	大谷 正和	大西 和男	大西 清	大西 直純	大平 昇	大森 進
小笠原 均	岡田 崇司	岡田 禎之	岡本 英男	小川 恭子	小川 寛	越智 翼	

## 【カ行】

鹿島 勝	梶本 六夫	楮山 睦美	片岡 修	片岡 誠二	片岡 正雄	片岡 宗曠	加藤 公堂
加藤 直也	加藤 昌	加藤 好文	門田 潔	門田 悟	門田 直美	兼久 良二	蒲池 正宏
蒲池 美鶴	上谷 景子	鴨頭 裕子	烏谷 康恵	川内 博文	川上絵梨香	河上 幸市	川上 弘之
川原 哲也	川原 学	河村 新吾	川本 清治	菅 勝	菊地 久男	菊地みのぶ	岸 武弘
北野 芳樹	岐部 定則	木山 文宏	刑部八州男	工藤 香織	久保 出美	久保チズエ	久保 泰敏
蔵田 憲治	黒河シゲ子	黒河 安德	小池 昭彦	合田 文男	河内 泉	小崎 弥生	後藤 秀治
後藤 幹郎	小林 紀子	五味 俊一	近藤 安彦				

## 【サ行】

齋藤 匠	酒井 雅奈	坂口 恵子	坂田 隆	坂本 哲巳	坂元 陽介	坂和 守廣	佐々木乾二
佐々木宏二	佐々木珠希	佐谷 嘉美	佐藤 興治	佐藤 憲義	佐野 章雲	澤井 達夫	澤田 有馬
塩月ぬい子	直原 通治	直原 基壬	茂川 卓司	重川 剛	篠浦ゆりか	信宮 俊紀	島田 千歳
清水 秀一	清水富美枝	庄野 礼子	白井 瞳	白石 圭吾	白石 昌弘	白川 政憲	白田 恒子
新矢 一	新矢 喜保	杉本 英智	鈴木 大輔	住田 啓子	清家 丈裕	清家 信孝	関谷 豊
副 裕子	園部 忠						

## 【タ行】

高内 文保	高垣 ルミ	高須賀 敦	高杉 晃吉	高田 敬士	高田 禎子	高橋 朋央	竹内 譲二
田坂 拓磨	田坂 千世	橘 齊	立上 良典	田鶴谷寛子	田仲 国重	田中 忠	谷岡 利弘
谷本 須美	田畑 栄造	玉井 周平	津田 朋美	堤 紘司	寺澤 徹哉	寺地 雄二	土居 繁
土居 俊夫	土岐 傑	土岐 仁美	得能 修	徳本 隆司	戸田 健	利根 克典	豊澤 正則
鳥生 勉歳	取口 敏憲						

## 【ナ行】

永尾 真一	中島 邦雄	中島 慶	中村裕二郎	成清 寿一	西上 恵子	西上 三鶴	西岡 秀記
西岡 倫弘	西田 和真	西原 典幸	西山 明香	西山 展子	能野 美咲	野田 勝美	野田 敏幸
乗松 眞二							

## 【ハ行】

橋田 哲仁	畠中 節男	濱松 一良	林田 貴光	張本 雅宣	日野 恵一	姫路 大覚	兵頭 厚子
平野 嘉成	弘内日出雄	深坂 穰	福井永一郎	藤井 啓文	藤岡 達夫	藤田 育子	藤田 雅文
藤本 三佳	藤本 康城	古江 政信	古田 陽子	北條 正信	保科 昇	細川 陽平	堀田 保子
本田 公子							

## 【マ行】

松浦 道明	松島 稔	松田 三郎	松田 敏幸	松本 長彦	松本 康照	美崎 敏昭	水木 悌三
水谷 省二	溝手 幹也	光田 正	三村 光正	宮内 真理	宮岡 実穎	宮川 晶子	宮野 金太
宮原 美咲	宮本 泉	三好 博巳	村上 和恵	村上 邦子	室井美千博	毛利 修三	森 健一
森 浩平	森 幸子	森 春美	森岡 鐵男				

## 【ヤ行】

保田 和磨	安永 博邦	八東 誠二	八塚 洋	柳田 耕生	山崎 剛裕	矢野 明美	藪内 崇司
山内多恵子	山内千代	山内 恒幸	山岡 安子	山口 信夫	山口 里奈	山田 敏勝	山田 稔子
山田 幸博	山根 勝美	山根 淳一	山根 直生	山根 桃恵	山村 好克	山本 茂美	山本 求
横川 修	横山 弘通	吉本 政弘					

## 【ワ行】

若江美千子	脇 敏夫	和氣坂ハナミ	脇田 忠徳	和田 哲志	渡部久仁子	渡部 浩三	渡部 雅泰
渡部由紀子							

[2022.3.31現在] 1,722,500円 寄付者総数355人(内、匿名希望60人、掲載可295人)

[2021.3.31現在] 1,540,000円 寄付者総数295人(内、匿名希望42人、掲載可253人)

## 寄付金の払込時にお寄せいただいた「応援メッセージ」をご紹介します。

文末に記載しているのは、英文字のイニシャルと卒業年(西暦)の下2桁です。なお、74人の方々からメッセージをいただきましたが、誌面の都合上、一部のみのご紹介となることをお許しください。

- \* 歴史の教科書に載るような出来事が起きている大変な状況下ですが、適応して力を発揮してください。YY 07
- \* 四国の文化を国内外へ発信する拠点となることを法文学部に期待しています。YO 77
- \* コロナに負けず、三密を回避したこれからの大学運営を応援します。KI 90
- \* 同窓生の皆さん、コロナに負けず、頑張ってください。愛大の発展を祈っています。HN 61
- \* コロナ禍ですが、愛大生の充実した学生生活をお祈りしています。NK 92
- \* 同窓会の皆様、コロナに負けず自分の人生を充実したものにするため、いつでもチャレンジし続けてください。いつかまた大学時代のように気の合う仲間と松山で飲みたいものです。KM 83
- \* コロナ禍の終息を願うとともに、旧友との一日も早い再会を楽しみにしています。SO 68
- \* 人生いろいろ、「生きる」って大変なことです。今はガムシャラに頑張ってください。応援してます。TI 85
- \* 同窓会報を読むと自らの学生時代を思い返し懐かしい気持ちになります。今は大変な時期ですが、今しかできないことを探して前向きに取り組んでください。MY 99
- \* 現在67歳。年金生活で少ない金額ですが寄付します。人と人との交流は幸福のベースです。同窓会の活動を応援します。KO 77
- \* 今はコロナ禍で大変な時期ですが、未来に向かってがんばってください！ TH 18
- \* 昭和の学部移転時の在学生です。現在の整備された環境、とても羨ましく思います。城北の澄んだ空気の下、楽しいキャンパスライフを過ごしてください。そして、いつまでも“愛される愛大生”でいてください。MK 65
- \* 大学時代は本をしっかりと読み、確かな判断力を身につける努力をしてください。HO 74
- \* 特色のある大学・学部として、いっそうの発展を期待しています。頑張ってください。MS 59
- \* 海外からの留学生や語学の勉強をする在学生の記事を読んで心強く思います。KT 78
- \* 国民の正義のリーダーとしてのご活躍を期待しております。YW 75
- \* コロナ禍で大変だけど、今できることをして、力を発揮できるよう明るく前向きに頑張っていきましょう！ HN 91
- \* ピンチはチャンスです！！ KY 89
- \* 新しい時代を切りひらいてください！！ TT 96
- \* 愛大での学び、出会いが、今の私の人生の基礎となっています。母校の益々の発展、後進、同窓生、先生方のご活躍を祈念します。MM 03
- \* 第25号同窓会報のピチピチこぼれる笑顔のみなさん、ご卒業おめでとうございます。一年半以上続くコロナ禍というきびしい現実ですが、力を合わせて幸せな社会を創ってください。KS 61
- \* コロナ感染症は必ず終わりが来ます。明るい未来はすぐそこまで来ています。挫けることなく、諦めることなく頑張ってください。YS 20
- \* 伝統を引き継いで、今後ますます発展、永続してください。TT 97
- \* 愛大はとても良い環境で学業にサークルに充実した4年間が過ごせます！ 皆さんの今後の活躍に期待しています。NM 96

## 支部だより

コロナ禍で昨年度は、各支部とも総会・幹事会や年中行事がほとんど開催できませんでした。今年度開催の予定は四国支部のみです(8月現在)。各支部の連絡先は下記です。支部のある地域にお住まいの同窓生で支部総会などに参加を希望される方はご連絡ください。

### ▶ 関東支部 [東京章光会]

会長 阿部 仁(法76)  
電話 : 090-4074-5793  
E-mail : abe873@sweet.ocn.ne.jp  
副会長兼事務局長 荒木雅弘(法76)  
電話 : 090-2457-7552  
E-mail : masahiro.araki@nifty.com

### ▶ 関西支部 [にきたつ会]

会長 岡本正明(法67)  
電話 : 0742-34-0190  
E-mail : bookhill@nifty.com

### ▶ 広島支部

事務局長 品川 瑞(法93)  
電話 : 082-208-5886

(あさがお司法書士事務所内)

### ▶ 四国支部

副支部長(企画担当) 玉井周平(経78)  
電話 : 090-8973-7650  
E-mail : tousui78@yahoo.co.jp  
事務局(案内等担当) 鳥生勉歳(文89)  
電話 : 090-4506-1684  
E-mail : toriu71@gmail.com

# 愛媛大学硬式野球部



硬式野球部のホームページを見ると、“私たちと本気で野球やりませんか？”という文言が目飛び込む。写真に目を移すと、楽しそうな笑顔の面々。Googleで検索すると、Sportの語源はラテン語の「deportare」に由来する。この語は、日々の生活から離れること、則ち、気晴らしをする、休養する、楽しむ、遊ぶこと等を意味した。この写真に対する私の第一印象も、なんて楽しそうなのだろう！でした。

硬式野球部ホームページには、「私たち硬式野球部は、全国大会で野球をする素晴らしさを味わうことと、部員一人一人の人間性の育成を目的とし、四国制覇、全国での一勝を目標に活動しています。野球においては、攻守共に粘り強く、接戦で勝ちきることのできるチームになるため日々の練習に励んでいます。応援されるチーム作りに力を入れ、部員全員が同じ方向を向き、目標達成に向け尽力していきます。」とある。

チームの監督は、大島知樹監督、その上に、総監督永井淳さんがどっしりと構える。なんと驚いたことに、大島監督が学生時代の監督であるという。温かく見守る御役だ。大島監督も温厚な方だ。大学野球は高校野球と違い、選手主導、学生の自主性・自立性に任せ「自分で考えてプレーする・考える野球」を心がけておられる。

現在は、四国地区大学野球令和4年度春季リーグ戦の真只中だ(令和4年4月現在)。四国地区大学野球チームは全11チームでしのぎを削る。リーグ戦は最少11試合、最大で15試合戦うことになる。全国大会出場を目指し日々練習、リーグ戦を戦う。目標は四国を制覇し、全日本に出る事。

愛媛大学は国立大学なので、私立大学と比べ資金面で大変厳しく、大方の費用は自分達で賄う。ユニホーム・道具類・遠征の費用等も自前で捻出。学業もおろそか

に出来ない。その上、練習、資金捻出のためのアルバイトである。苦労は、想像に難くない。

野球部員85人、選手は各学部から集まる。今年度は、医学部からの入部も有り、「農学部・医学部から山越グラウンド迄は遠いですね。」と水を向けると、流石に若者、苦にはならないようである。

現在の主将は、法文学部4回生山崎陽平さん。明るく弁舌爽やかな背番号10番、主務は、永田侑規さん、マネージャーの取りまとめ役である。しっかりと落ち着いた雰囲気若者。回生ごとにマネージャーが居り、大所帯を束ねるのは大変だろう。ポジション争いでは、ピッチャー希望が一番多く、ここでも熱い戦いがある。

4月23日土曜日、リニューアルされた坊っちゃんスタジアムへ。香川大学との対戦だ。一塁側内野席に陣取った。試合は、ヒットも出るが点に繋がらない。攻撃の折は、円陣を組み、心を一にする。主将山崎背番号10番が躍動、櫓を飛ばす。スコアボードが新しくなり鮮明でとても綺麗だ。グラウンドで頑張る選手たち。他方で、バックネット裏では、背番号のない選手が、ひたすらファールボールを拾う姿に、感動を覚えた。グラウンドでプレーする選手は、ナイン。チーム全員の支えが有り、ナインは、全力で戦える。

卒業後の進路で野球を続ける人がいるかどうかの質問に、3年前に徳島インディゴソックスに入団した選手がいるとの事、頑張してほしい。

愛媛大学硬式野球部は、国立大学としては稀な2015・2016年と2年連続で全日本大学野球選手権大会に出場。高校野球とは一味違った「社会勉強の場」「人生の友と出会う場」であり、勝ちにこだわり、一丸となって、勝利のために頑張るチームだ。

(取材：和氣坂ハナミ・廣田 章子)

## 大学新施設

# 地域の人々との「共創・協働」の推進のために 「ひめテラス」が新設されました

愛媛大学も、たえず進歩しています。2022年度4月から、城北キャンパス正門の守衛室の南側の鉄筋3階建の建物が「E.U. Regional Commons」として始動はじめました。愛称は「ひめテラス」です。これは一般公募による命名だそうです。



「Regional」（地域の、地方の）の語を用いているように、「教育、研究、地域貢献、国際交流、健康、医療」などの幅広い分野において、学生・留学生・教職員・地域ステークホルダー（利害関係者）などの全ての方が「集い、考え、学び、応える」イノベーション拠点として様々な活動を展開することです。これらの活動を通じて、愛媛大学の第二の正門として「地域」と「愛媛大学」をつなぐ多機能かつシンボリックな機能をはたし、「地域における知の拠点として、地域からのニーズに応え、信頼を得られるよう努めていく」そうです。

以上、大学からいただいた「愛媛大学概要 2022」を参考にまとめてみました。その冊子の表紙は、「E.U.



Regional Commons」の建物の南側のテラスとその上部のスクリーンが描かれています。

実際に、どのように利用されているか、見学させてもらいました。

1階は地域交流スクエアで、市民・学生・教職員が自由に集い価値を共創するオープンスペースとうたわれています。予約もなしで一般人も利用できるそうで左下の写真のような表示があり、やさしく呼びかけています。また「1F地域交流スクエア 11:30~13:30 ご飲食いただけます（ゴミはお持ち帰りください）」（写真下）との表示もあり、ほんとうにくつろぎの場だなどの印象を受けました。見学時には利用者の学生さん2グループが、静かにかつ親しげに論を闘わせていて、「50年前の大学生」はうらやましく感じました。



2階は「メディアフロント」で、聴衆とのインタラクティブが可能でセミオープンスタジオだそうです。3階は「地域サステナビリティスペース」で地域課題解決のためのコミュニティを創出し、知恵と技術を共有するコワーキングスペースになっています。

頂いた小冊子をまとめながら、なんと説明文に英単語が多いのかと感じました。当世の文章はこうなのだろうか。（取材：廣田 章子・和氣坂ハナミ）

# 研究室紹介

シリーズ第10回となる今回も、前号でインタビューした先生から「友達の輪」式のご紹介を受け、寄稿していただきました。

## 人文学講座

### 中川未来准教授

日本史

**Q：日本近現代史がご専門とのことですが、具体的な研究内容について教えてください。**

**A：**関心を持っているのは、グローバル化とナショナリズムの関係です。2016年には、1890年代に「国粋主義」として発現した志賀重昂や陸羯南、高橋健三、内藤湖南らの思想を人びとのアジア体験やメディアによるアジア情報流通との関わりの中かで明らかにした著書『明治日本の国粋主義思想とアジア』（吉川弘文館）を刊行しました。

いま現在は、岡山県児島郡の塩田地主・野崎武吉郎が残した膨大な史料を他大学の研究者とともに整理、検討しながら、瀬戸内という地域社会から中国、朝鮮を目指した人々の軌跡を追いかけています。念頭にあるのは、「ローカルな空間」は「国境という壁を突き抜けて直接にリージョンやグローバルな空間に向けて開かれている」（山室信一『アジアびとの風姿』2017年）という言葉です。グローバル化への対応が喧伝される現在ですが、そのような潮流に批判的に棹さしつつ、必ずしもグローバル・ヒストリーには回収されない歴史像を描きたいと願っています。

**Q：ゼミの様子は？また新型コロナウイルス感染症の影響は大きいですか？**

**A：**日本史研究室は、近世史をご担当の胡光先生と私が指導する学生で構成されています。2020年3月に古代史の寺内浩先生が定年退職され、随分と寂しくなりました。

大学によって多少異なると思いますが、一般的に日本史分野では、いわゆる「ゼミ」とは異なり、研究対象を異にする複数の教員と学生とが切磋琢磨する学びの形を重視してきました。やや小規模な愛大日本史研究室でもそれは変わ



今治市・小島にて

りなく、歴代の教員と学生は授業の他に史料調査や研修旅行、勉強会を通じて、狭い専門性に閉じこめるのではなく相互に啓発しあう努力を重ねてきたと思います。

しかしCOVID-19の影響により、宿泊や飲食を伴う史料調査や研修旅行の実施は見合わせざるをえない状況が続いています。有形・無形で培われてきた研究に関わるノウハウの伝承が途切れ、また教員と学生、学生間の人間関係が希薄となっていることは否められません。学問の伝統維持は、これからが正念場だと感じています。

**Q：愛媛大学、また愛媛県の印象は？**

**A：**私は宮崎県で生まれ育ちましたが、かつて弟が松山の中学・高校にお世話になっていた関係で、以前より「大街道」「衣山」といった市内の地名には馴染んでいました。愛大の教職員やOBの方々、また2015年の着任後に恵まれた2人の子どもの介して地域社会とご縁も深まり、とても居心地良く暮らしています。

道すがら見知らぬ子ども達が挨拶をしてくれる点、横断歩道で自動車が止まってくれる点などはかつて長く暮らした京都では到底考えられず、人の優しさを含めこれからもかくあって欲しい愛媛の長所だと思います。一方で、地元愛が強く暮らしの満足度も高いためか、現状に対する批判が生まれにくい風土だとも感じています。またこれは愛媛に限りませんが、図書館や書店、映画館、さらには喫茶店といった人々が集い、学び、意見を交流する際に不可欠なインフラの弱さが目立ちます。難しいですね。

**Q：休日の過ごし方は？**

**A：**元気な息子たちの世話で、平日も休日も忙殺されています。ここ数年で体重は10キロ落ち、肩や肘、腰も痛むようになりました。出版社とは2冊目の著書を約束しているのですが、中々思うように進んでいません。ただ、おそらく今が家族の黄金期なのでしょう。恵まれた愛媛、松山での日々を大切に過ごしていきたいと考えています。

**Q：卒業生にメッセージはありますか？**

**A：**四国遍路・世界の巡礼研究センターや、日本史研究室に事務局を置くボランティア団体「愛媛資料ネット」の活動には、卒業生の皆さまからも多くのご支援、ご協力をいただいております。日々の活動はHPでも情報発信しています。日本史の研究、教育と社会貢献活動は地域社会の支えが無くては成り立ちません。今後も大学と社会とを結ぶ架け橋となる卒業生の皆さまや同窓会との連携を深めていければと思います。



野崎家調査にて

## 社会科学講座

# 楢林建司教授

### 国際法

**Q：国際法がご専門だとのことですが、なかなか具体的なイメージがわかりません。**

**A：**例えば、SDGs（持続可能な開発目標）は、私たちの日常生活にも浸透してきていますが、人権や環境、経済に関する国際法とも深く関わっています。児童労働によって作られた製品を、消費者として買わない等です。私



海外体験の意義について高校生に語る

が特に専門としている安全保障分野について言いますと、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻が、国際連合憲章の武力行使禁止原則に違反していることや、ロシア軍の行為に、非戦闘員を保護しようとする国際人道法に対する違反がかなり見受けられることが問題として指摘されます。日本に住む我々も、こうした問題に関心ではられません。

**Q：ウクライナ侵攻を防げなかった国際法は「無力」のようにも思えるのですが？**

**A：**たしかに、国際法の父とも称されるグロティウスが1625年に『戦争と平和の法』を著して以来、「戦争をいかにして防ぐか」、「戦争が起こった場合に非戦闘員への被害をいかに少なくするか」ということは、残念ながら国際法の重大テーマであり続けています。

国際社会には未だ世界政府が存在せず、国際法は、国内法と比べて、法に対する力による裏付けがたいへん弱いという現実があります。そのため、今次のロシアによるウクライナ侵攻や、安保理決議なしで行われた2003年のアメリカ等によるイラク侵攻をはじめ、大国が国際法を踏みこむ行為に出ても、それを効果的に止めることはできません。

しかし、だからこそ、法によって力を制御しようという試みの重要性は、国内社会と比べて国際社会の方が大きいとも言えます。また、国際法違反であるウクライナ侵攻やイラク侵攻が、違反者側にとっても大きなマイナスの効果を生んでいることは否定できないでしょう。国際法を神聖視するのでもなく冷笑するのでもなく、「今の国際法で何ができるのか」、「どのような国際法が新たに形成されるべきなのか」等につき、冷静かつ着実に考えることが大切だと思います。

**Q：そのような視点は、教育面にも反映されていますか？**

**A：**私が担当している授業に「国際問題ワークショップ」（1年次～）というものがあり、毎年、ルワンダ大虐殺（1994年）を、題材の1つとしてとりあげています。その際、学生には、

「虐殺の犠牲者から『この授業は私たちにとってどのような意味があるのか?』と問われているのだと、意識してください」と伝えています。国際問題に関する知見を身につけることも、もちろん大切ですが、それ以上に、目を背けたくない現実を直視することや、むき出しの暴力の犠牲者の立場から、物事を見たり考えたりすることが重要だと思います。

また国際法基礎演習（2年次～）では、世界各地でどのような問題や紛争が生じているのか、そして、そうした問題や紛争に私たちの日常生活がどのように関わっているのか等を検討しています。遠い世界で起こっているように見える事柄を、「自分に関わること」と捉える姿勢が、社会科学の基礎になると考えています。そして、私たち一人一人が、ほんの少しずつ、国際法を「創る力」や「守らせる力」を持っているのだと気づいてもらうことを重視しています。



本学での日台交流プログラム

**Q：国際交流活動については、どのようなことをなさっていますか？**

**A：**2019年までは、毎年、タイや台湾での研修に学生を引率していました。タイにおける研修では、提携先大学との交流だけでなく、知日派の大企業幹部を前に英語でプレゼンしたり、中学校で英語による模擬授業（日本文化の紹介）をしたり、高齢者ケア施設（入所者とは言葉がほとんど通じません!）でのアクティビティに参加したりもします。台湾では、双方の学生による日本語での研究発表が活動の柱となります。そうした活動を通じて学生諸君が成長していることを実感できるのは、教員冥利に尽きます。



タイの高齢者ケア施設にて

コロナ禍により、2020年と2021年は引率中止となりましたが、2021年には、学生主体のオンライン交流を2回実施しました（タイと台湾）。参加学生の笑顔に、「交流できる喜び」が表れているのをうれしく思いました。2022年からは、オンライン交流とリアル交流を組み合わせることにより、研修の成果をさらに深めたいと考えています。

# Career Report



弁護士  
相原佳子  
[1978年卒業 法学科]

## 日弁連副会長を経験して



会議後の懇親会で挨拶

私は、2021年度日本弁護士連合会（以下、「日弁連」と言います）の副会長として貴重な体験ができましたので、ご紹介いたします。

昭和53年法文学部法学科を卒業し、国家公務員として女子少年院の法務教官（丸亀少女の家）を約5年間務めた後、司法試験の受

験勉強を開始、なんとか合格し、平成3年4月から現在に至るまで第一東京弁護士会（以下、「一弁」と言います）に所属しています。通常は、一般民事、少年事件、家事事件や社会福祉関係（障がい者、高齢者、児童養護施設等）の事案を取り扱っています。

日本全国の弁護士数は現在約4万3000人ですが、半数以上が、一弁を始めとする東京の三つの弁護士会に所属しています。松山に生まれ、川之江（現四国中央市）で育ち、愛媛大学卒業後、丸亀市内で働いていた私が何故東京で弁護士をしているかと言いますと、私が合格した当時、女性弁護士でも就職難だったからです。もっとも、現在は、女性弁護士に対する需要は増加しており、全国各地で対応しきれない状況になってきています。

日弁連の執行部をご説明します。日弁連は、各地の弁護士会の上部組織であり、会長は2年に一度、弁護士全員から選挙で選出されます。副会長は大規模会（東京三会、大阪、愛知）の会長5名、関東、北海道、東北、中国、九州、四国、近畿等の弁護士会連合会から選出された8名、そして、女性会員の副会長に関するクォータ制として2名の合計15名で構成されています。私は、最

後の女性副会長のクォータ制によって副会長に就任しましたが、2021年度の女性副会長はクォータ枠の2名のみでした。ちなみに、2022年度は15名中6名が女性会員です（愛媛大学出身の女性副会長としては、平成24年度に宇都宮眞由美弁護士が四国弁連推薦の日弁連副会長に就任されており、私は2人目です）。

日弁連では、一番大きな会議体は総会ですが、通常は日弁連理事会（全国の理事75人で構成される——愛媛弁護士会会長も理事です）での決議が最も重要です。そして、副会長の重要な役目として、担当委員会からの意見書案を検討し、提案意見書案が承認されるように適宜修正を求め、理事会に対して、委員会を代表して説明し承認されるように尽力することが挙げられます。さらに、理事会で承認された意見書をマスコミ等に公表し、最高裁や法務省、国会議員に説明し、最終的に立法化や運用改善を求めるといった対外的活動を担います。私は、昨年1年間、家事法制委員会、子どもの権利に関する委員会、高齢者・障害者の権利支援センター、男女共同参画本部、広報全般等を担当しました。

私が担当し、承認された議案の中で、最も印象的な意見書には、昨年9月に発出した「子どもの権利基本法の制定を求める提言」があります。関心のある方は日弁連ホームページを是非ご覧ください。

副会長としてとても良かったのは、日弁連がシンクタンクの役割を果たしていることを知り、その一員として仕事をしたと思えたことです。非常に広範な内容の意見書案が提出されますので、必死で読み込み、その意見書案に客観的根拠があるのか、法律の専門家の集団の意見書として妥当な内容かを、会長を始め他の副会長らと議論し、最終的に理事会で承認され発出できたときは充実感がありました。

特に、全国から集った、経験や仕事内容が大きく異なる弁護士同士で、自由闊達な意見交換をし、若かりし頃の部活動やサークル活動をしたときのような感覚も味わうことができました。当初は自分に務めることができるのだろうかと不安でしたが、今では副会長をやってよかったと心から思っています。

正副会長と事務総次長（前列右から2人目が筆者）



# Career Report

松山市立子規記念博物館指定管理者  
レスパスコーポレーション 学芸員

西岡 美咲

[2017年卒業・人文学科]



## 「人間、子規」の松明の火を紡ぐために

思い返せば、中学生時代に美術館で対話型鑑賞へ参加してから、私の夢は「学芸員」になっていました。資料を「見る」だけでは得られない体験が、「聴く」こと、「考える」ことなどを通して何倍にも感じる事ができたからです。

子規記念博物館では、正岡子規やその周辺人物、子規を育んだ郷土松山の歴史に関する資料を幅広く収集し、「人間、子規」をテーマとして子規を顕彰し、研究しています。常設展示室内には、収蔵している約7万点の資料から厳選された300点ほどの資料が展示してあります。私が入社前に初めて子規博を訪れた時は、時間を忘れて観覧し、気が付けば4時間も経っていました。充実した資料を前に、同様の声や、驚きの声を来館者からいただいたこともあります。リピーターの中には、展示替のあと、子規の絵1点を観るために来館される方がいるほど、魅力的な資料が揃っています。

一方で、子規博は「文学系」の博物館という性格上、書簡や原稿など、文字であらわされたものが多く、どうしても「見る」というより「読む」行為が主となります。遠方から訪れた人などの中には、じっくり観覧したくとも時間や距離の問題で断念してしまう方もいるでしょう。そこで活用してほしいのがインストラクターによるガイド説明です。子規の人生を語る上で、特に重要な資料を取り上げて紹介することで、子規の生涯のイメージをつかみやすく、より身近に感じてもらえるように手助けをしています。時に質問を交えながら、資料を「読む」だけでは気がつくことができなかつた発見に出会うことができるはずで、事前に予約が必要ですが、1人でも希望者がいれば案内をしているので、ご来館の際はぜひガイドをご利用ください。



子規博外観には子規の人気句を掲示

また、子規博は地域に根差した博物館でもあります。普及活動の一環として、「子規博セミナー」などをはじめとした各講座を開いたり、俳句・短歌の全国大会を行ったり、松山市小中高俳句大会を行うなど、子どもから大人まで幅広く楽しめる活動に取り組んでいます。

毎年6月に開催している市内の小学4年生を対象とした「子規ジュニア養成講座」では、子規が熱心に取り組んだ俳

句や短歌の魅力を紹介し、子規がどんな人物だったかを勉強します。自ら文化活動に参加するなど、提案力のあるリーダーを育成することを目的とした当講座で、俳句や子規についての知識を身に付けた児童は「子規ジュニア研究員」に登録されます。子規の魅力を伝える若い語り手の誕生です。友人柳原極堂をはじめ、多くの人々が現代まで子規を語り継いできたことで、子規はたくさんの人に愛されてきました。児童たちが子規に親しみを持ってくれることで、そのバトンはさらに繋がれていきます。



「子規ジュニア養成講座」で講師を務める様子

子規が愛され、「人間、子規」に親しみを持つ理由のひとつには、好奇心旺盛な人物であったことが挙げられます。政治に哲学、小説、俳句、短歌、写真画など、子規は様々なことに興味を持ち、挑戦し、病床においても自分の可能性を見出し続けていました。そんな彼の姿には感化されるものがあります。

入社当初、竹田美喜総館長にかけていただいた言葉があります。

「あなたはたくさん失敗が出来る人。それは挑戦を惜しまない人だということ。これからも多くの失敗を経験してほしい。」

私自身も子規に劣らず負けず嫌いで、チャレンジを惜しまないタイプです。この言葉を胸に刻み、子規について学びながら、図書の管理や展示作業、子規句の解説はもちろん、イベントの司会進行や、ミュージアムショップで販売する新商品「しっきー文具シリーズ」の開発やデザインなど、多岐にわたる業務を経験できています。子規の尽きることのない好奇心と挑戦力に刺激を受けている人は、私以外にもたくさんいることでしょう。



「しっきー文具シリーズ」はお土産にぴったり

誰かに伝えたいような発見が子規記念博物館にはあります。「正岡子規」をより身近に感じてもらえるように、子規の魅力を広く発信し、ファンを増やしていくのが我々の使命です。松山から世界へ、そして未来へと永く継承していくためにも、「人間、子規」の想いがこもった松明の火を、1人でも多くの人に灯せるように、これからも挑戦し続けます。

## 問題

クロスワードの色がついた部分の文字を並べ替え、愛媛県に  
関係のある偉人の名前を教えてください。

1		2	3	4		5	6
		7				8	
9				10			
		11	12			13	
14	15				16		17
18		19		20			
	21		22			23	
24			25				

(出題：H16卒・矢野彰大氏)

### ●ヨコのかぎ

- ① 千葉県の海岸
- ⑦ セントレア空港がある県
- ⑧ ある←→
- ⑨ 人工河川
- ⑩ 食べ物を煮るのに使う
- ⑪ お相撲さん
- ⑭ 小野妹子が行った国
- ⑮ 五七五七七
- ⑯ 値段
- ⑳ 2+2=
- ㉑ 英語で「蓮」
- ㉒ 女優。峯村、宮沢、柴田
- ㉔ 挽いたりこねたりを使う
- ㉕ 紫の花が咲く野草

### 【解答】

- ### ●タテのかぎ
- ① キムタクの妻
  - ② 入浴後
  - ③ ○○転愛
  - ④ 『梶子』の読み
  - ⑤ フラワー
  - ⑥ 距離の単位の一つ
  - ⑬ 『消える』の古語、文語
  - ⑮ 銀の上のメタルの色
  - ⑰ 鳥の羽で作った翼をつけ
  - ⑱ て飛び立った
  - ⑲ 舌の部位の肉
  - ⑲ ブラジルの格闘技
  - ⑲ 清涼飲料水の一つ
  - ⑲ 四角形のカタ
  - ⑲ 加える

### 応募方法

同封の応募ハガキに正解をご記入の上、**2022年11月30日までに**本会あてお送りください。

### 賞品

図書カード1,000円分 25人

### 第25号 パズルの答え

正解：  
タルト (たると)

ア	ガ	サ	ク	リ	ス	テ	イ
ル	イ	セ	ツ	ナ	シ		
カ		ミ		カ	メ	ン	
ナ	デ	シ	コ	リ		ア	
	ポ	ン	カン		タ	ユ	
ニ	ジ		ツ		カ	ス	ミ
	ツ	カ		セ	キ	ウ	
ゴ	ト	ウ	ゲ	コ	ヨ	ハ	ル

パズル等の解答にいただいた個人情報、同窓会事務局が適切に管理し、賞品の発送および名簿データの更新にのみ使用いたします。

### 前回パズル当選者(敬称略)

解答者 166人中、正解者 166人

### 図書カード1,000円分 (25人)

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 姫田 祐輔 (S33) | 赤星 勝 (S43)  | 秋山 久恵 (S44) |
| 坂本 哲巳 (S47) | 野口 裕久 (S51) | 永尾 真一 (S54) |
| 江口 咲子 (S58) | 白石 明子 (S61) | 中山 美輪 (S62) |
| 矢野 義和 (S63) | 中山 裕樹 (H2)  | 土居 孝哉 (H6)  |
| 大植 舞 (H12)  | 川内 博文 (H14) | 岡 英樹 (H18)  |
| 花谷 有美 (H20) | 石井 智恵 (H20) | 大東 香織 (H23) |
| 岩城 博年 (H24) | 田頭 朋子 (H25) | 田頭 優子 (H27) |
| 今治絵梨花 (H28) | 芳之内里紗 (H28) | 森田 和花 (H29) |
| 古賀あかり (H31) |             |             |

### 役に立った記事、面白かった記事ランキング

1位はプラタモリはすごい(71人)、2位は愛大今昔(46人)、3位は俳句講座(44人)、4位は卒業生から(19人)、5位は青い地球交流記(16人)、6位は退職教員(15人)、7位はサークル紹介(14人)、8位は研究室紹介(13人)、Career Report(13人)、10位は提供講座感想(9人)、パズル(9人)、以下、卒業式・入学式(8人)、提供講座報告(7人)、表紙写真(6人)、LINE(6人) など

### 意見・感想

お褒めやお礼、励ましの言葉(特に、コロナ禍での活動に関して)をたくさんいただきました。●俳句コーナー楽しみにしています。私も投句チャレンジします。●表紙の卒業式の写真、すてきでした。自分の卒業式を思い出し、懐かしかったです。●以前の会報よりも記事が増加しており、更に多くの情報が掲載されるようになってよかったです。大変だと思えますが、また次号も楽しみにしております。●会報のつくりが率直で読者に向き合っているのがほほえましいです。(Messages from Alumniの件) ●大学生時代にお世話になった先生が退職されるのを知り、仕方のないことはわかりつつも、なんだか時の流れを感じてさみしくなりました。お疲れ様でした。●愛大今昔には、しばしの間記憶が迷走しました。すばらしい会報、次回号も楽しみにしております。●送られてくる度、楽しかった大学生活を思い出し懐かしい気持ちになります。これからもよろしくお願ひします。寄付をしてプレゼントを頂く…賛否両論あるかと思いますが、私は大賛成です。気持ちだけのモノでかまいません。卒業生として、記念とし大切にに使わせてもらってます。●正門前がきれいになっていて良いなと思いました。学内の写真も懐かしく毎回楽しみにしています。●会報は限られた紙面で、多方面にわたり、よくまとまっていると思います。毎年会報が届くのを楽しみにしています。●今回、久しぶりにパズルに挑戦しました。頭の体操になってよかったです。●「同窓会報」をいつも楽しく、懐かしく拝読しております。LINEによる仲間申請や俳句コーナーなど同窓会員が直接参加できる企画が新設されるなど創意工夫がみられる編集に感動します。●日々の生活の中で学生時代を思い出す時間が失われがちですが、いつも会報を拝読することでタイムスリップし、気持ちが若がえる気がします。ありがとうございます。

### 主なリクエスト

●文理学部人文学科時代の事も記事として毎回1件はのせてほしい。当時の学生や卒業生、教職の方々のごこと、持田町のキャンパスのごこと…昭35年には松山でも安保反対のデモをしていました。●“現代を思う”ページを設けて、卒業生から提言を募る。●日々の学生の生活ぶりをレポートしていただけたら幸いです。学生たちの学校での姿、部活、アルバイトの様子、大街道や学校周辺のお店の今昔、学校から盛り場までの様子など。文章は面倒でしょうから、写真が多くても良いかと思えます。●ハイキングの記事、衝撃でした。色々なサークルの紹介が読みたいです。●会報を通して、他の学部との交流も図れればうれしいです。(例として、サークルOB会へつながる情報共有などでできれば) ●「俳句の作り方講座」、「プラタモリ」はすごい、「Career Report」のような記事を引き続き取り上げられることを期待します。

### お詫び

前号パズル当選者で「坪内かなえ」様のお名前を間違ったまま掲載してしまい、大変失礼いたしました。心よりお詫び申し上げます。お届けのご住所にお詫び状を添えお送りしましたが返送されました。メールで結構ですので転居先をお知らせくださいますよう、よろしくお願ひいたします。

### 【編集後記】

- ようやく対面授業が出来るようになったのに第7波の到来。一日も早いコロナ禍の終息を願うばかりです。皆様もご自愛ください。(河村)
- 新型コロナウイルスの第7波が猛威をふるっている現在ですが、今号はインタビューや編集委員会も行うことができました。(野寄)
- マラソンの大会も復活してきたと思った矢先に第7波。10月15日(土)お城下リレーマラソンで同窓会チームが走れますように。(鳥生)
- 今年は梅雨が早々に明けて猛暑が襲来し、28年前の大湯水の再来かと心配に。ふと当時1回生だったあの夏の暑さを思い出しました。(土井)
- 今年も無事に同窓会報が出来上がりました。原稿を寄せて頂いた皆さん、編集委員の皆さん、本当にありがとうございました。(畠中)
- 如何御消光被遊候哉。新編集委員の大和田風と申し。小生の爲に種々御配慮御盡力被下御厚情の程奉深謝候。(大和田)
- 異常気象、物価高、取まることの無いコロナ、元首相の暗殺と暗い話題ばかり。低くなるのは所得と生活のレベルくらいですが、耐え抜きましょう。(久保)
- 編集委員1年目。新たな出会いに感謝。大学本館での編集委員会、懐かしい時間でした。西岡さん素敵な原稿をありがとうございました。(山本)
- 『第三次世界大戦はもうはじまっている』という本が売れている。ロシアのウクライナ侵攻も終わりが見えない、戦争はイヤだ。(和氣坂)
- まだまだコロナ禍が続きますが、同窓会報は、編集委員の皆様のご尽力によって、今年も何とか完成しました。有り難うございます。(松本)
- 80年近く生きてきて、思いもよらぬことがあるのだと実感した1年でした。(廣田)
- 今回で編集委員を退くことになりました。2005年に全カラーの会報を発行してから17年、取材や原稿など多くの方々にご協力いただきありがとうございます。新メンバーも加わってますます会報が発展していくことを願っています。これからも協力や応援をよろしくお願いいたします。(小林)

発行 2022年9月  
 発行者 愛媛大学法文学部同窓会  
 編集 愛媛大学法文学部同窓会編集委員会  
 事務局所在地 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内  
 TEL 090-1002-6376  
 印刷 アマノ印刷